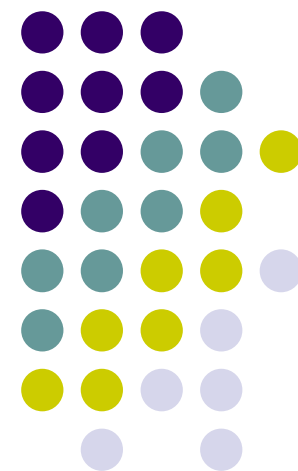
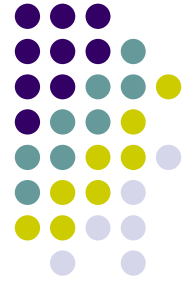


平成21年度 第3回
大阪府・大阪市経済動向報告会

最近の大阪経済の動向

2009年10月27日
大阪府立産業開発研究所
<http://www.pref.osaka.jp/aid/>





報告の流れ

(1) 景気全体の動き

(2) 需要サイド： 輸出・投資・消費

(3) 供給サイド： 生産・企業経営・雇用

(4) 今後の大阪経済の動向



(1) 景気全体の動き

(1) 景気全体の動き



●大阪の景気は、持ち直しの動きが続くものの、依然として厳しい状況にある。

- ・生産・出荷が足もとで持ち直すが、未だ低水準。
- ・製造業、大企業を中心に回復傾向が見られるものの、非製造業・中小企業では依然として厳しい。
- ・設備投資、雇用面では悪化続く。

<参照する統計>

★「景気動向指数(大阪府一致CI)」

※CI(コンポジット・インデックス)とは、景気動向をよく表わすと考えられる複数の統計指標の変化量について合成したもの。

★「景気観測調査結果(2009年7-9月期)」

※2009年7-9月期調査の調査時期は、2009年9月上旬。

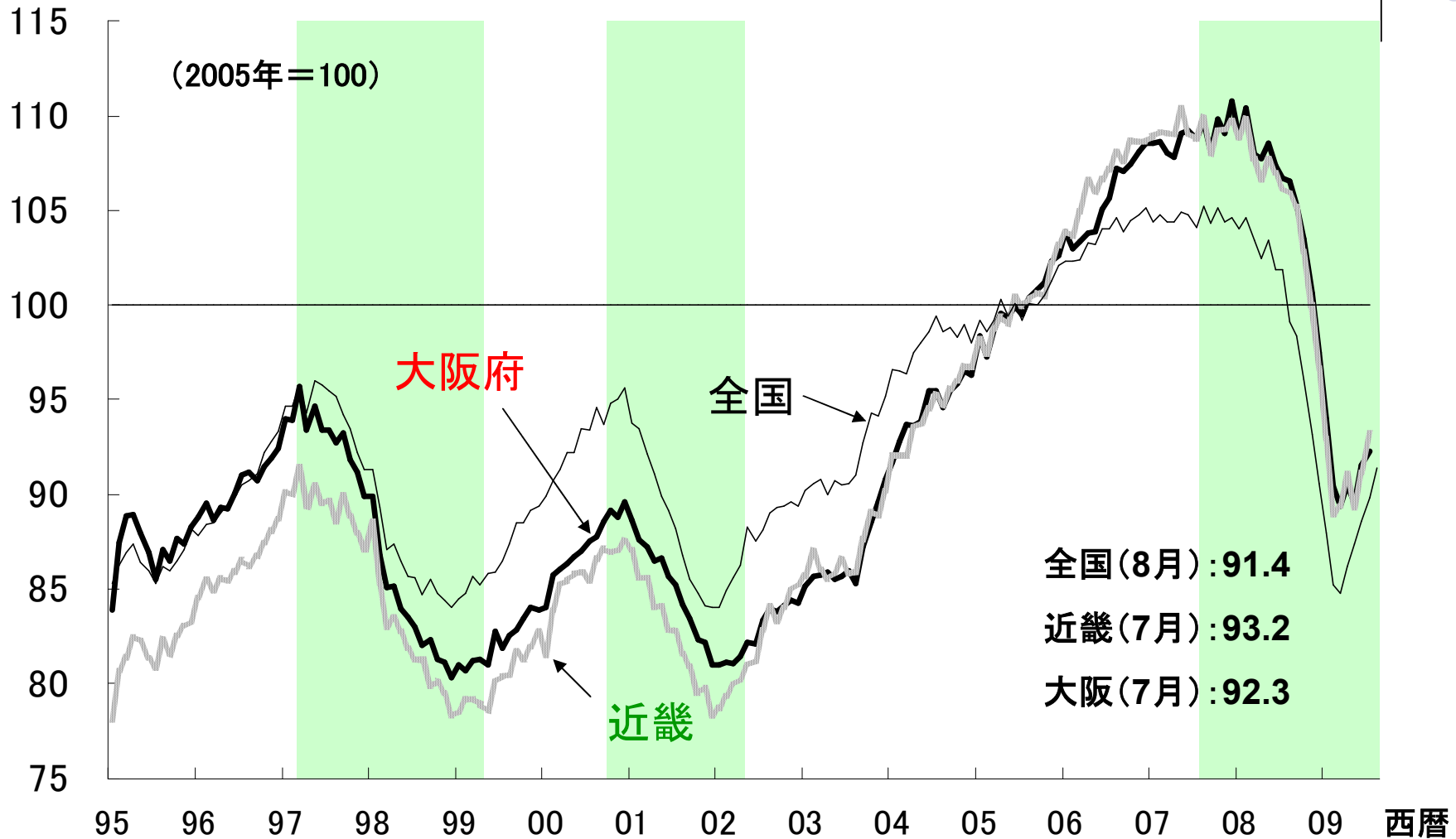
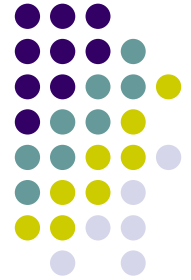
※回答企業数は1,928社。

(構成比:大企業9.0%、中小企業91.0%;製造業32.9%、非製造業67.1%)

(1) 景気全体の動き

景気動向指数(一致CI)

(1995年1月～2009年7月(大阪、近畿:速報値)、8月(全国:速報値))



※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
【データ出所】大阪CI・近畿CI(産業開発研究所)、全国CI(内閣府)。

(1) 景気全体の動き



大阪府景気動向指数(一致CI)

個別系列の寄与度(2008年7月~2009年7月)

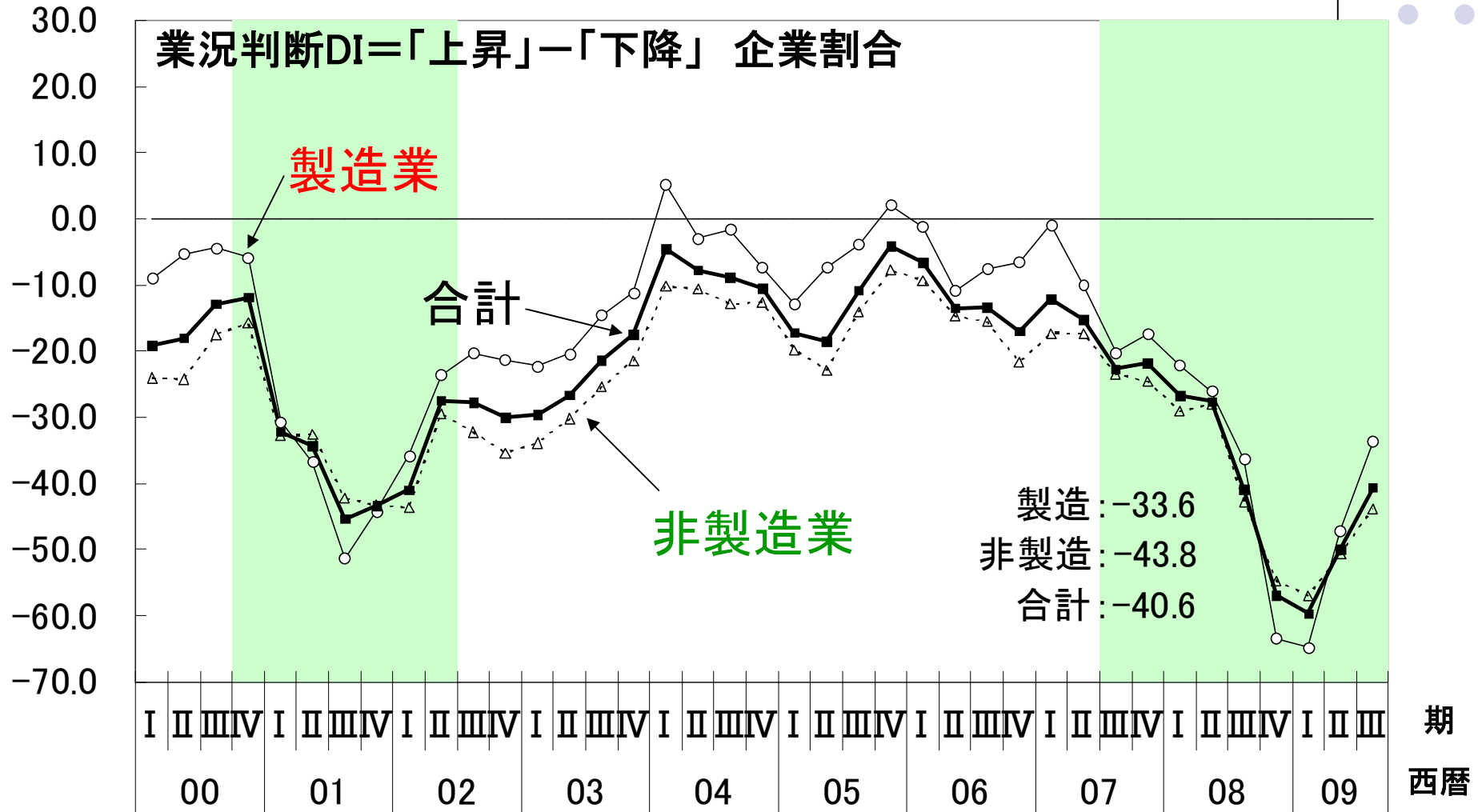
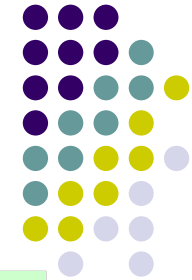
	百貨店売り場 面積当たり販 売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	関西大口電力 使用量	有効求人倍率	合計 (一致CI)	
2008年	7月	0.08	-0.29	0.06	0.09	-0.50	-0.11	-0.67
	8月	0.02	0.40	-0.02	-0.03	-0.24	-0.32	-0.19
	9月	-0.06	-0.13	-0.31	-0.39	-0.11	-0.28	-1.27
	10月	-0.14	-0.29	-0.40	-0.41	-0.24	-0.31	-1.79
	11月	-0.06	-0.69	-0.44	-0.75	-0.45	-0.44	-2.84
	12月	-0.17	-0.69	-0.60	-0.73	-0.74	-0.23	-3.14
2009年	1月	-0.08	-0.56	-0.71	-0.70	-0.70	-0.71	-3.46
	2月	-0.19	-0.67	-0.68	-0.67	-0.67	-0.69	-3.57
	3月	0.11	0.69	-0.58	-0.39	-0.20	-0.68	-1.04
	4月	-0.09	-0.16	0.67	0.68	0.67	-0.69	1.08
	5月	0.21	-0.26	-0.38	-0.54	0.67	-0.69	-0.98
	6月	0.34	0.35	0.36	0.68	0.67	-0.36	2.04
	7月	-0.30	0.45	0.23	0.06	0.61	-0.31	0.74

※寄与度とは、各系列が一致CIの増減に寄与するポイントを示す。
【データ出所】 大阪CI(産業開発研究所)

(1) 景気全体の動き

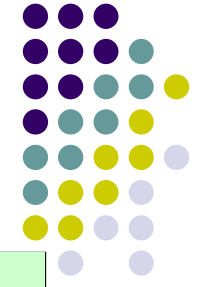
業況判断DI(業種別、前期比、季節調整済)

(2000年1-3月期から2009年7-9月期)



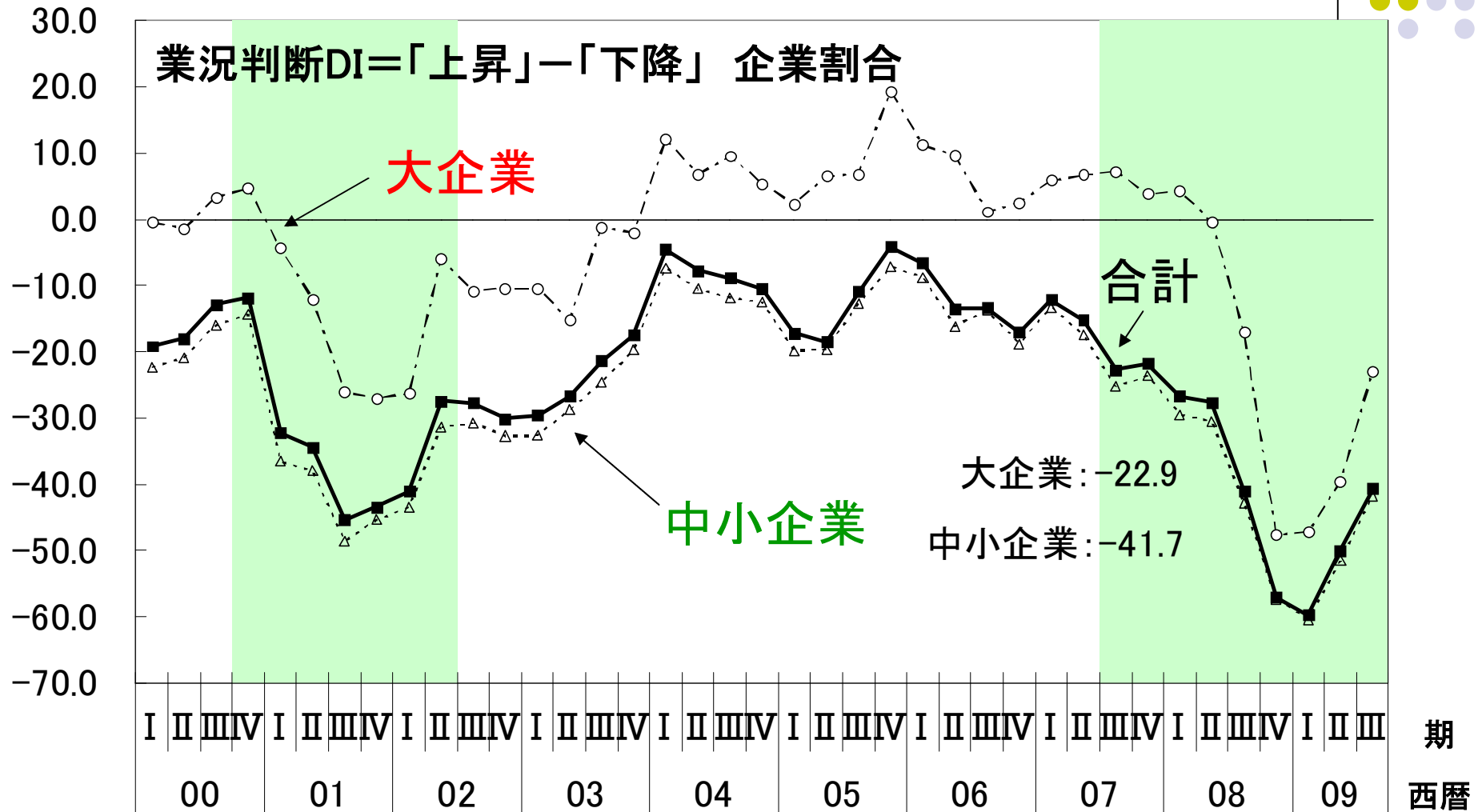
※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(1) 景気全体の動き



業況判断DI(規模別、前期比、季節調整済)

(2000年1-3月期から2009年7-9月期)



※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

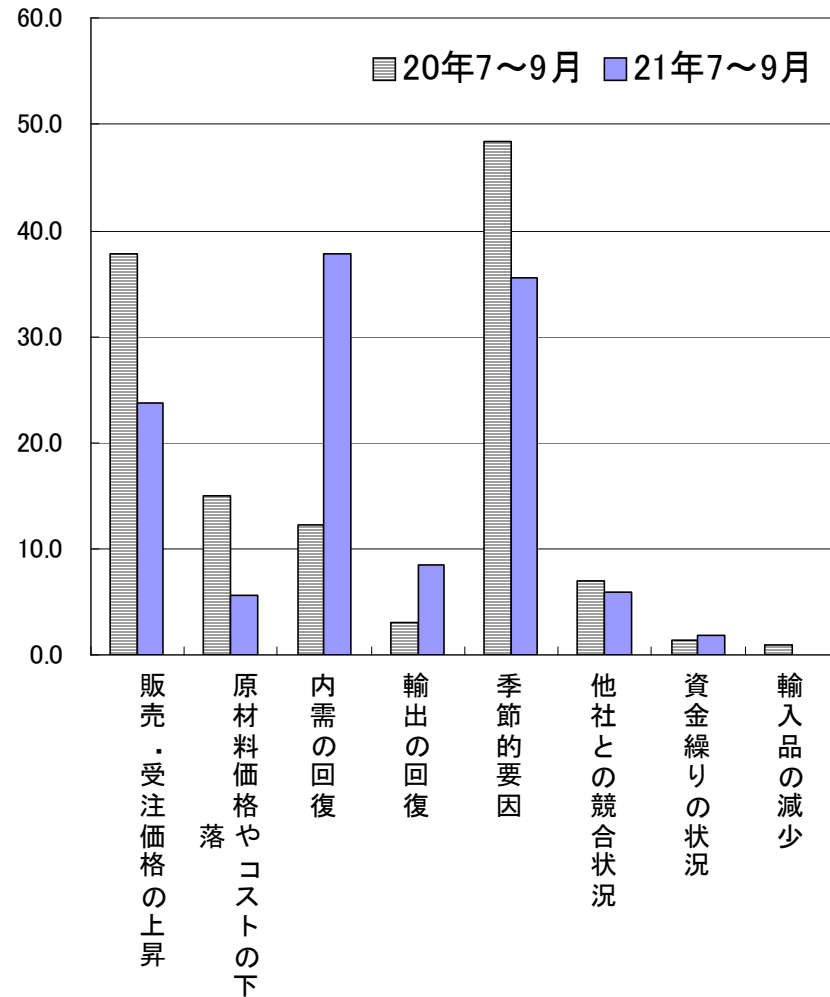
(1) 景気全体の動き

業況判断DI(前期比)の上昇・下降要因

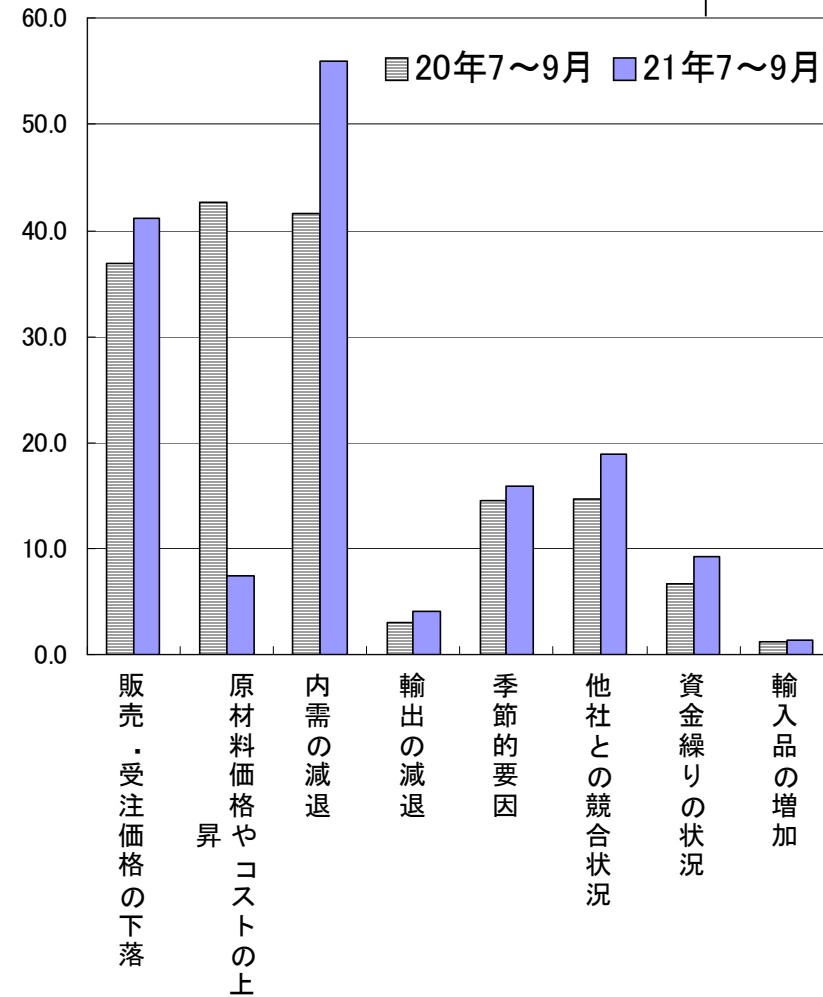
複数回答数(2つまで)



<上昇要因>



<下降要因>





(2) 需要サイド: 輸出・投資・消費



(2) 需要サイド： 輸出・投資・消費

● 外需は、依然として低い水準が続く。

中国向け・アジア向けで持ち直しの動きがみられるが、アメリカ向け・EU向けの回復が弱い。

円高の進展も今後の懸念材料の一つ。

● 内需は、景気対策の影響が一部に見られるものの、低迷している。

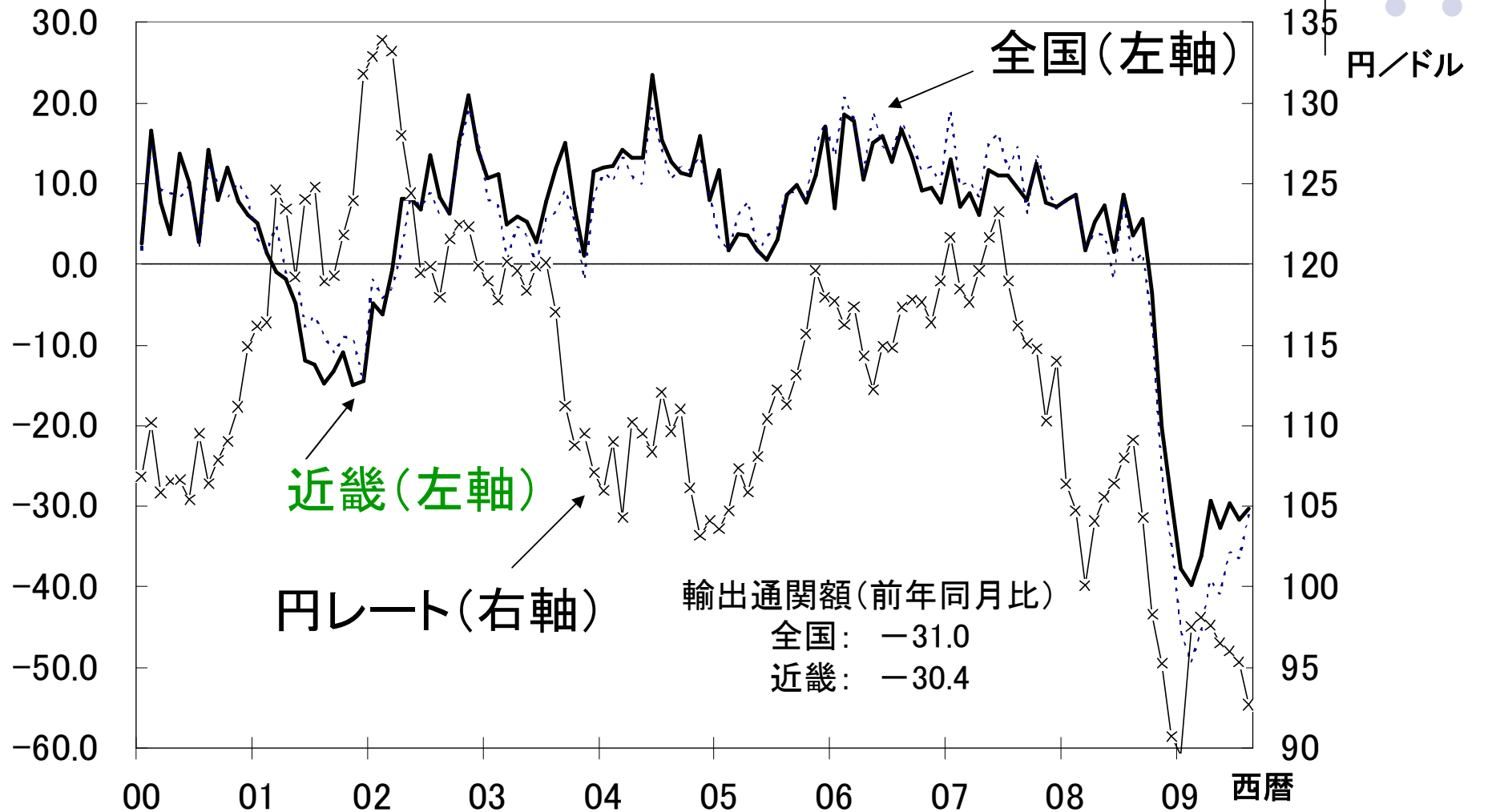
投資： 民間投資は低迷、公共投資は縮小。

消費： 新車販売・家電販売では、一部にエコ減税効果あり。
百貨店・スーパーでは販売不調続く。

(2) 需要サイド 輸出の動き

輸出通関額(前年同月比)

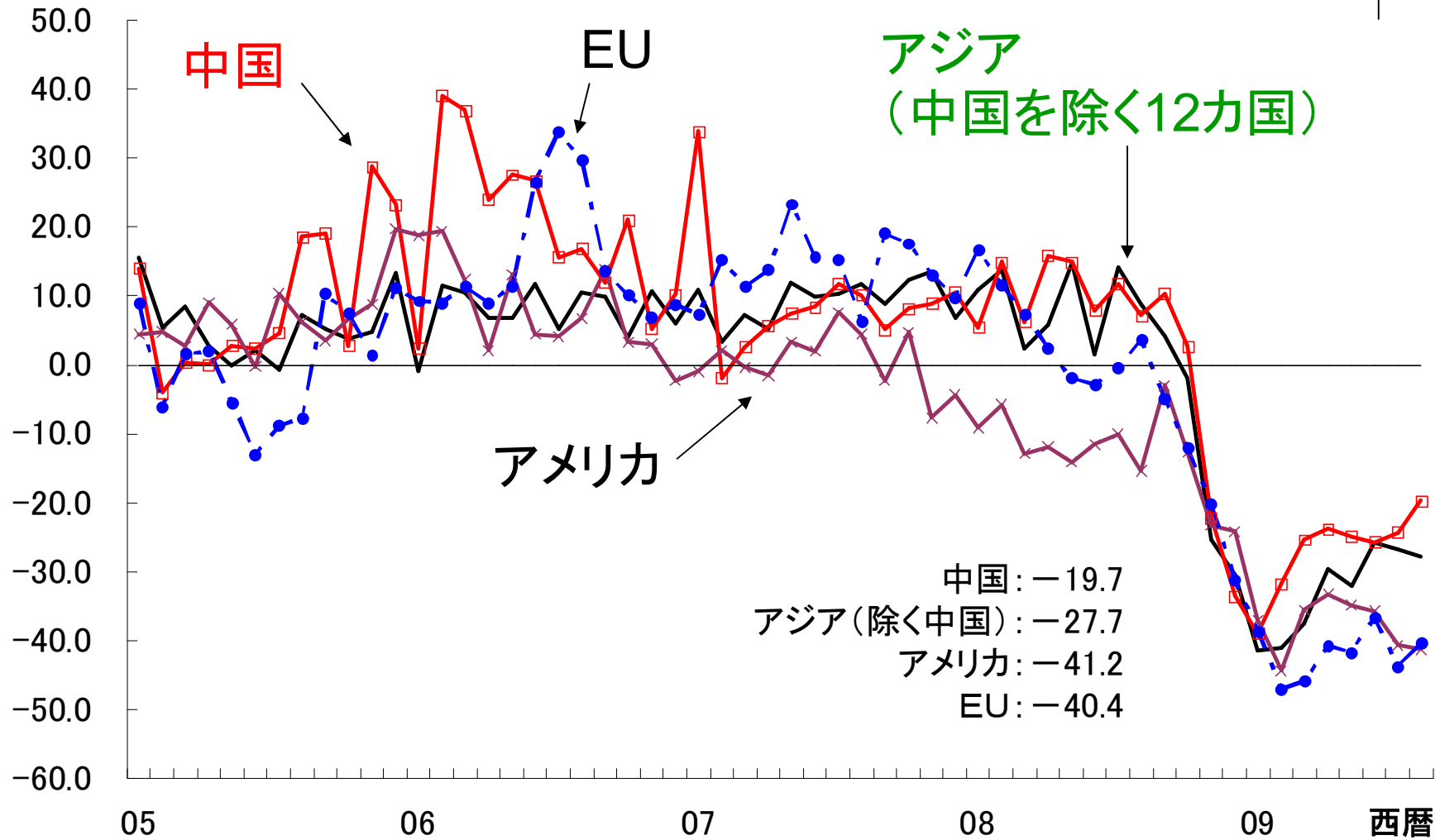
(2000年1月～2009年8月(近畿、全国))



【データ出所】「近畿圏貿易概況」(大阪税関)

(2) 需要サイド 輸出の動き

輸出通関額(近畿、前年同月比) の地域別推移 (2005年1月~2009年8月)

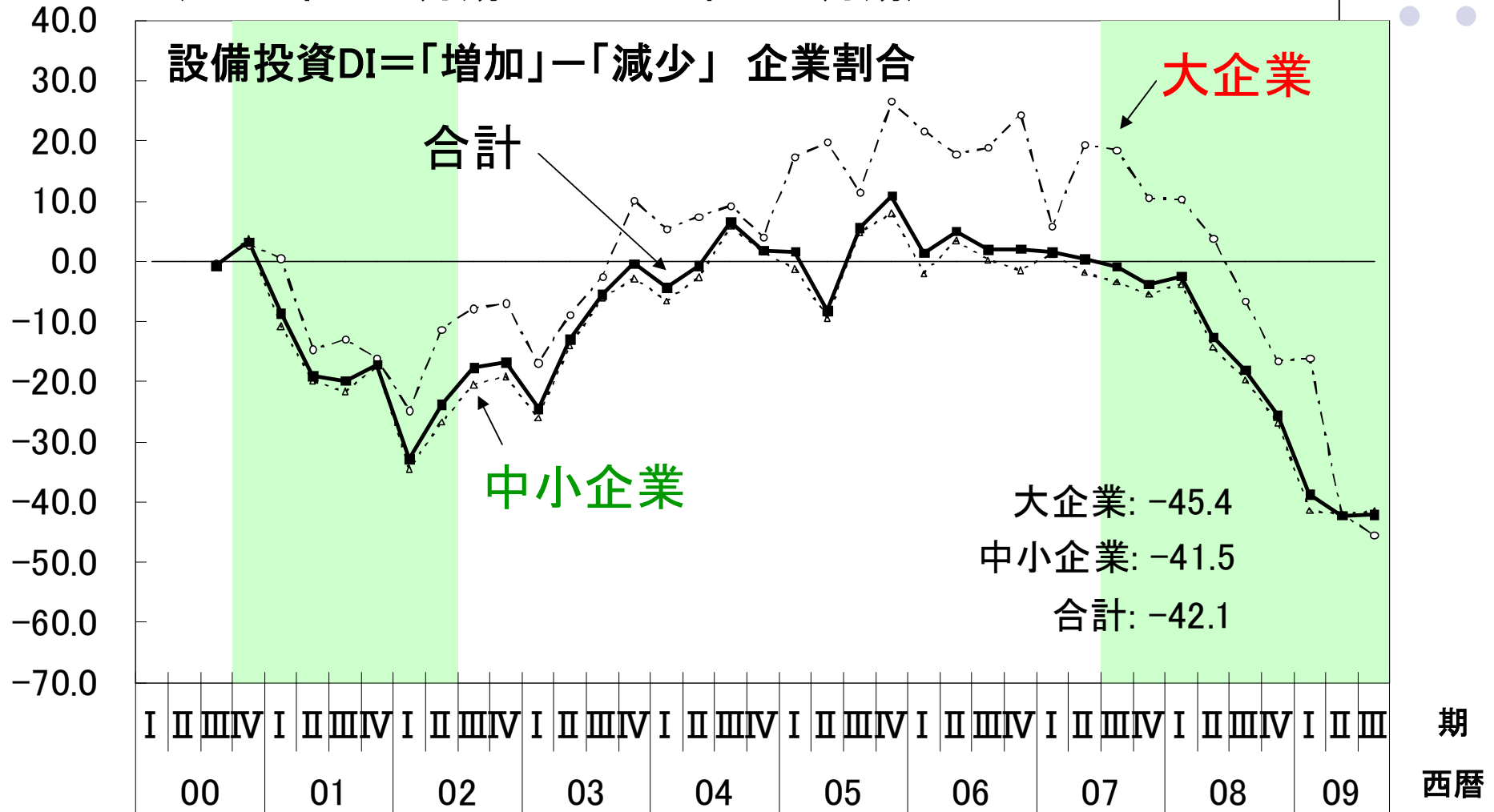
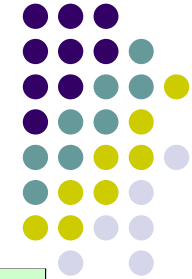


【データ出所】「近畿圏貿易概況」(大阪税関)

(2)需要サイド 設備投資の動き

設備投資DI

(2000年7-9月期から 2009年7-9月期)

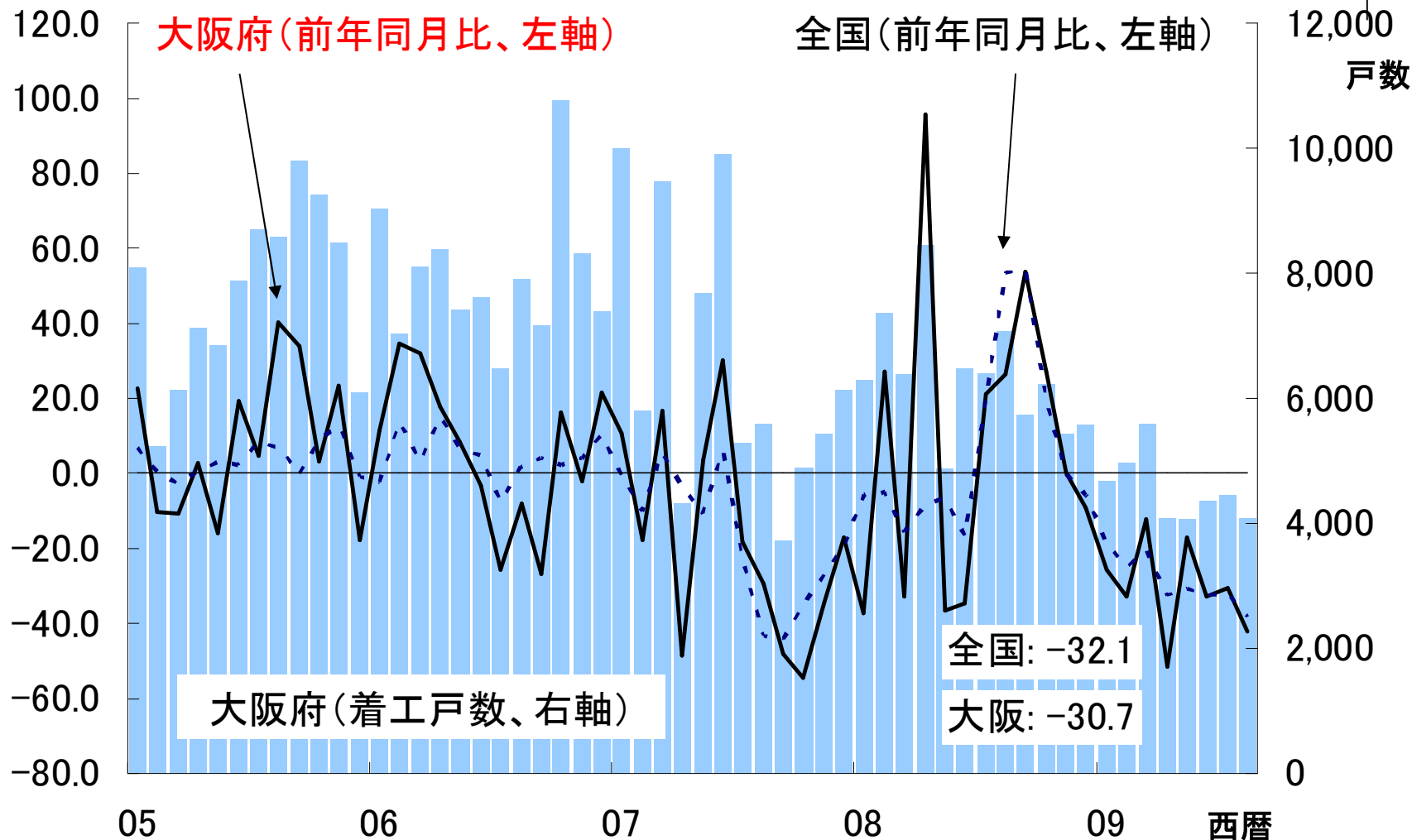


※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(2) 需要サイド 住宅投資の動き

新設住宅着工戸数

(2005年1月～2009年8月)

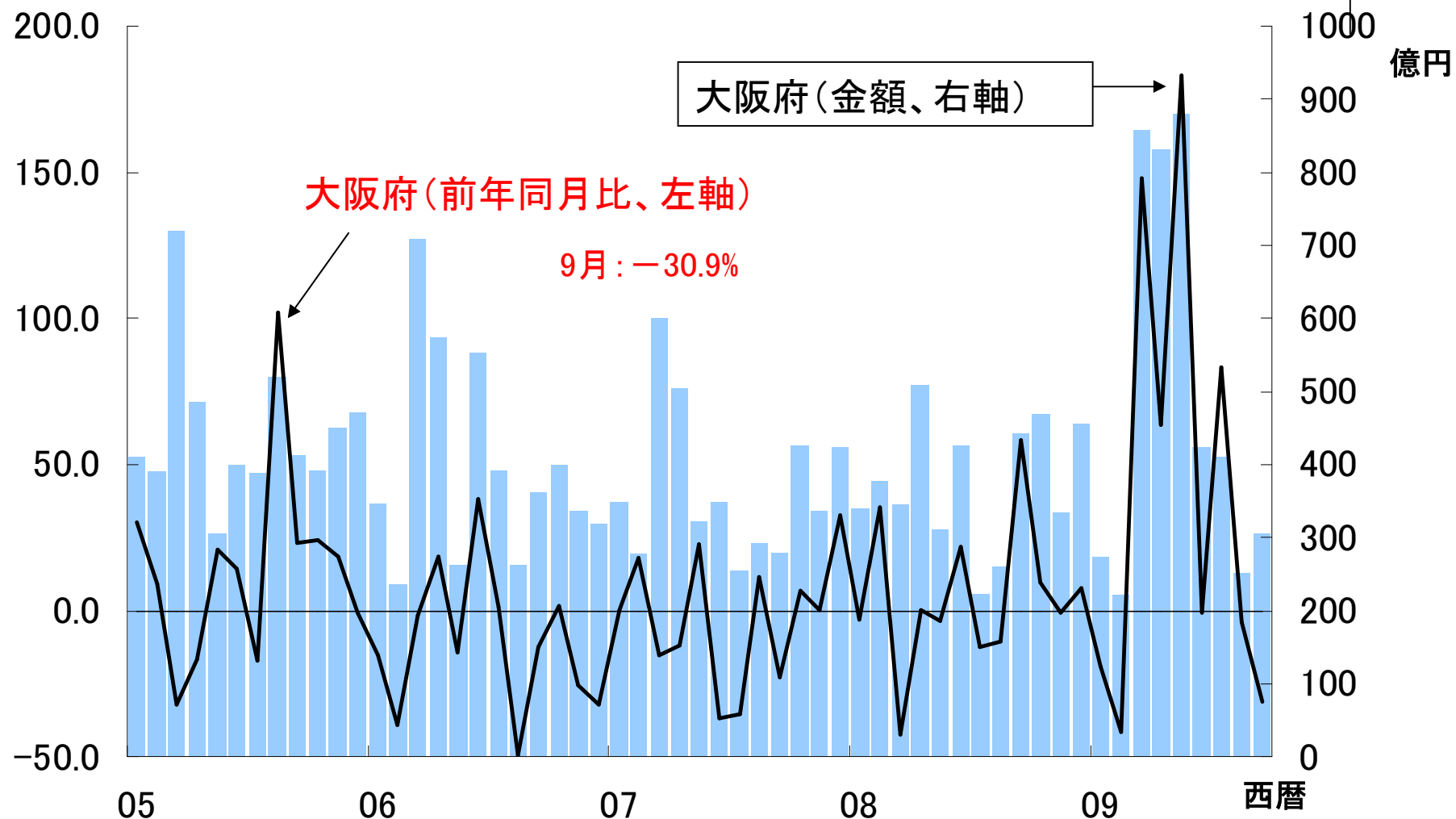


【データ出所】「建築着工統計調査」(国土交通省)。

(2) 需要サイド 公共投資の動き

公共工事請負金額

(2005年1月～2009年9月)



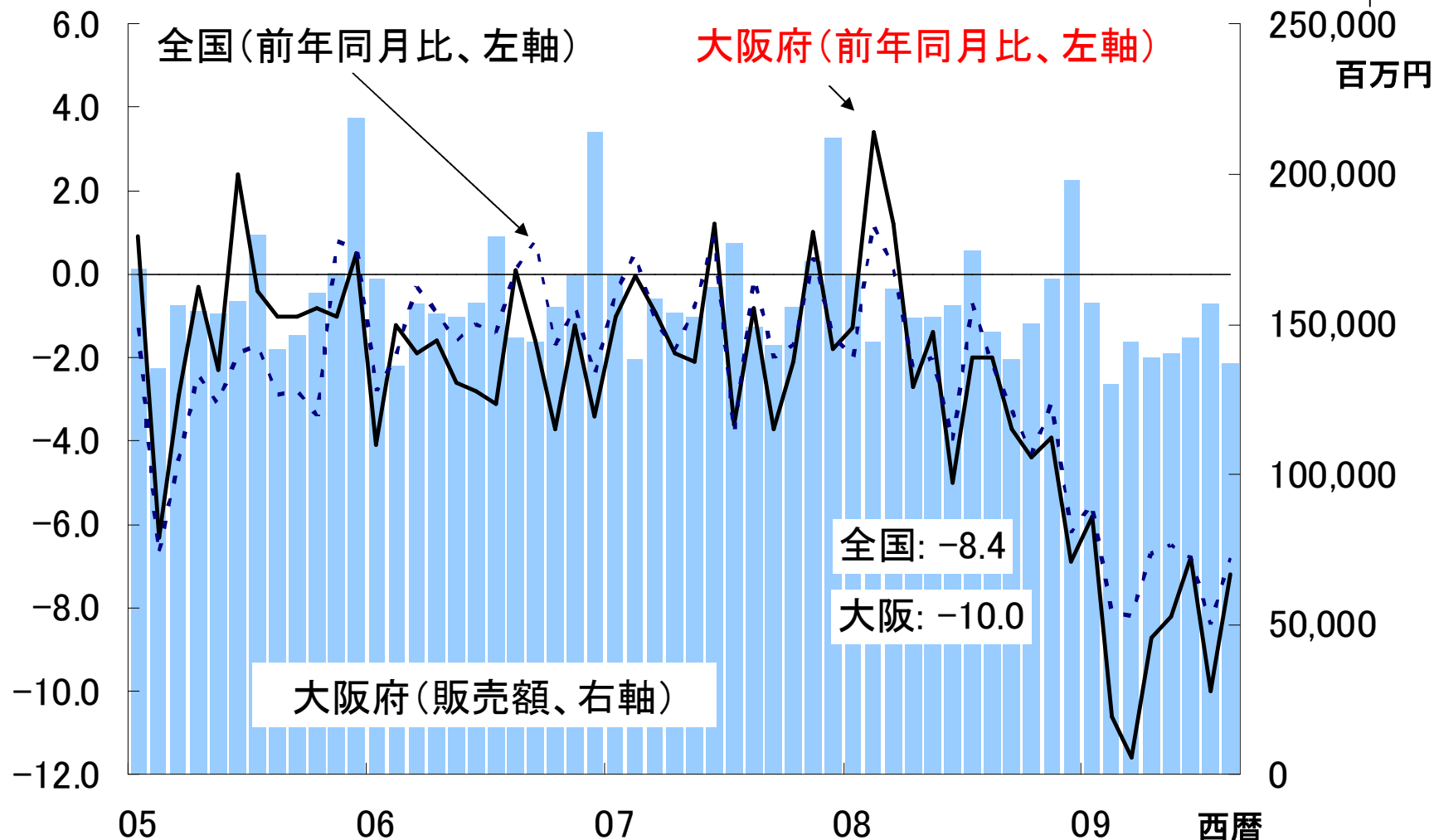
【データ出所】「公共工事前払金保証統計」(西日本建設業保証株式会社)の工事場所別前払金保証実績。

(2) 需要サイド 消費の動き

大型小売店(百貨店・スーパー)販売額 (既存店) (2005年1月～2009年8月)



速報値

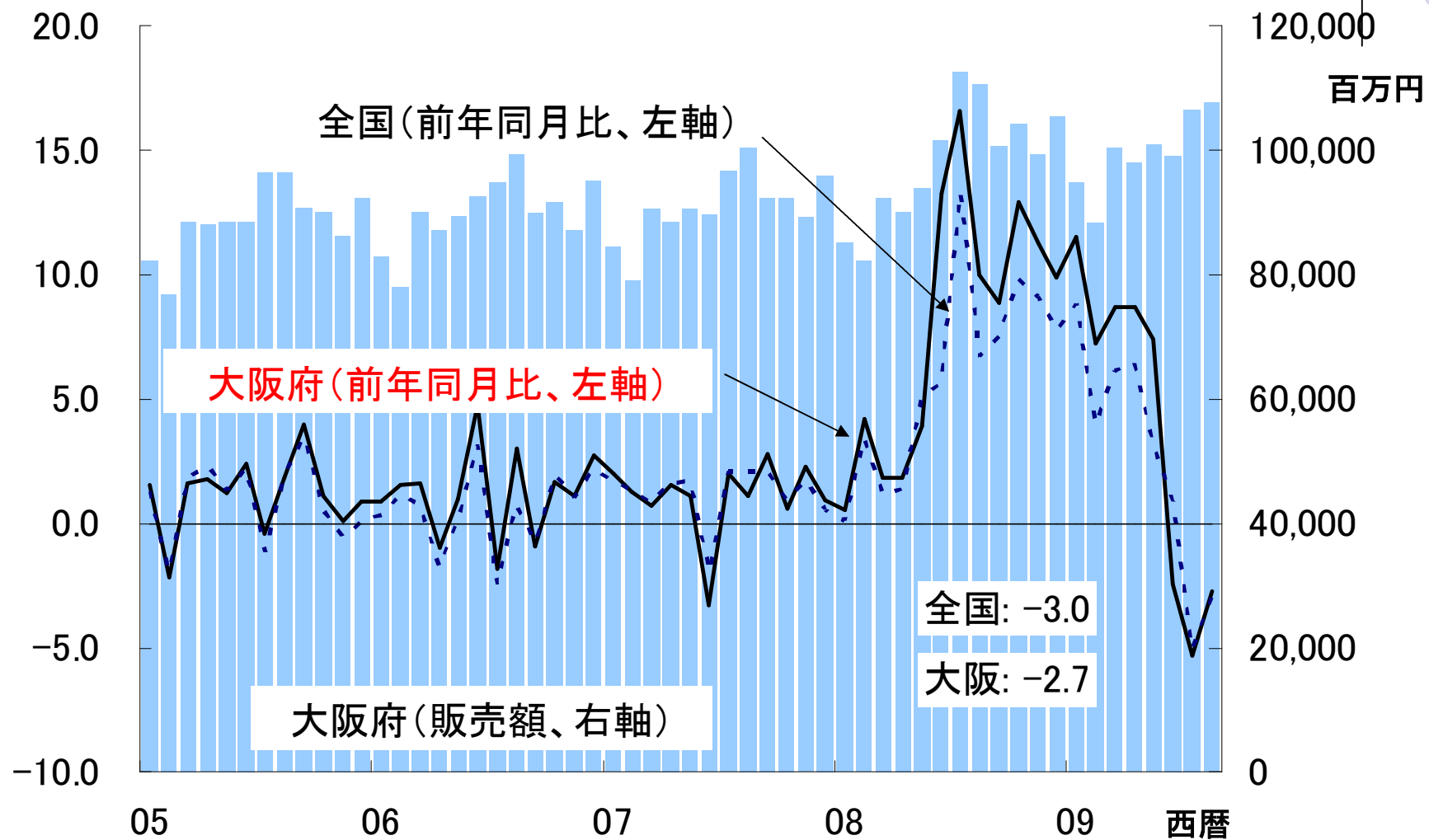


【データ出所】「大型小売店販売状況(近畿地域)」(近畿経済産業局)

(2) 需要サイド 消費の動き

コンビニエンスストア販売額(全店)

(2005年1月～2009年8月)

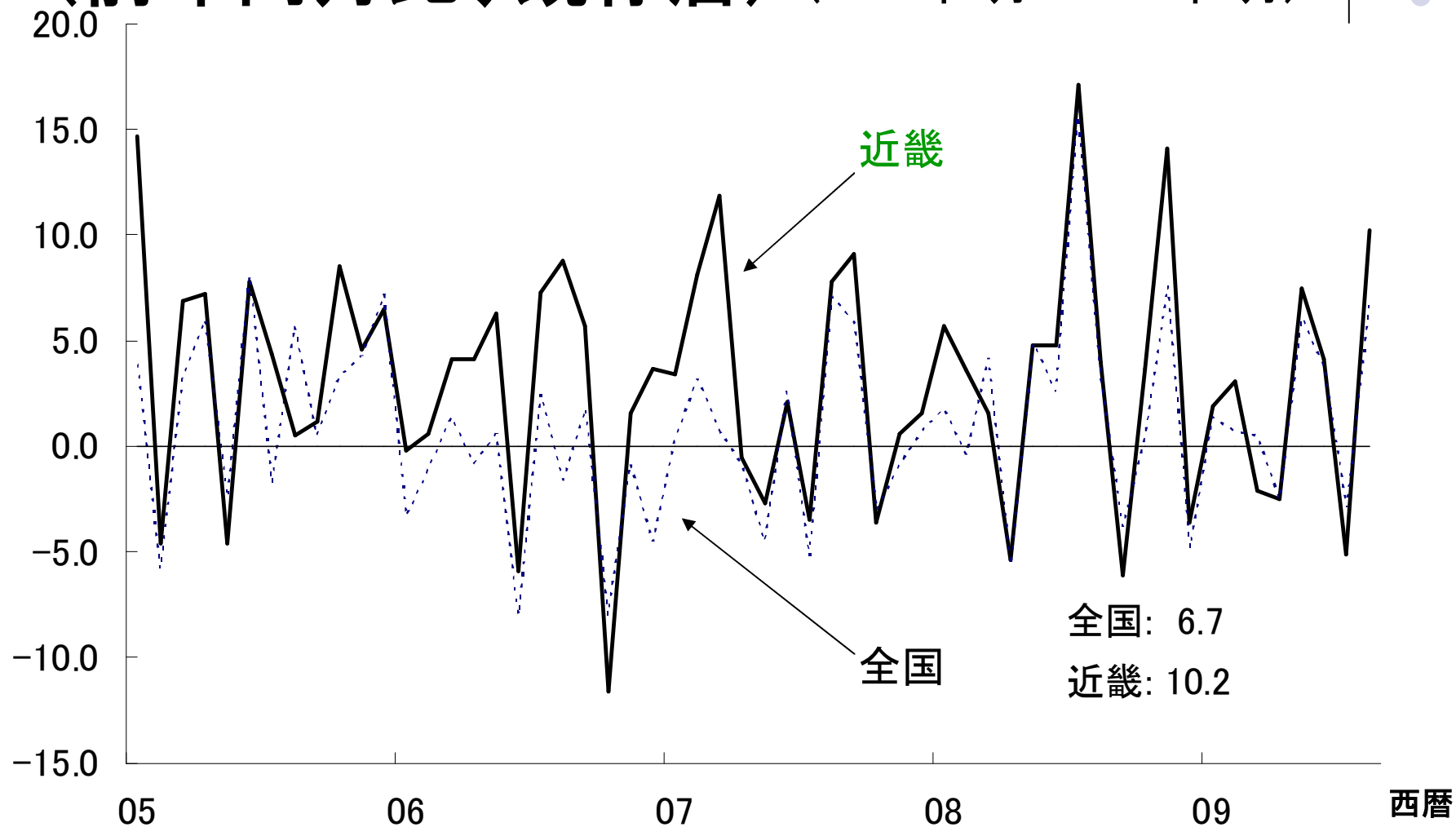


【データ出所】「大型小売店販売状況(近畿地域)」(近畿経済産業局)

(2) 需要サイド 消費の動き



大型家電量販店販売額 (前年同月比、既存店) (2005年1月～2009年8月)

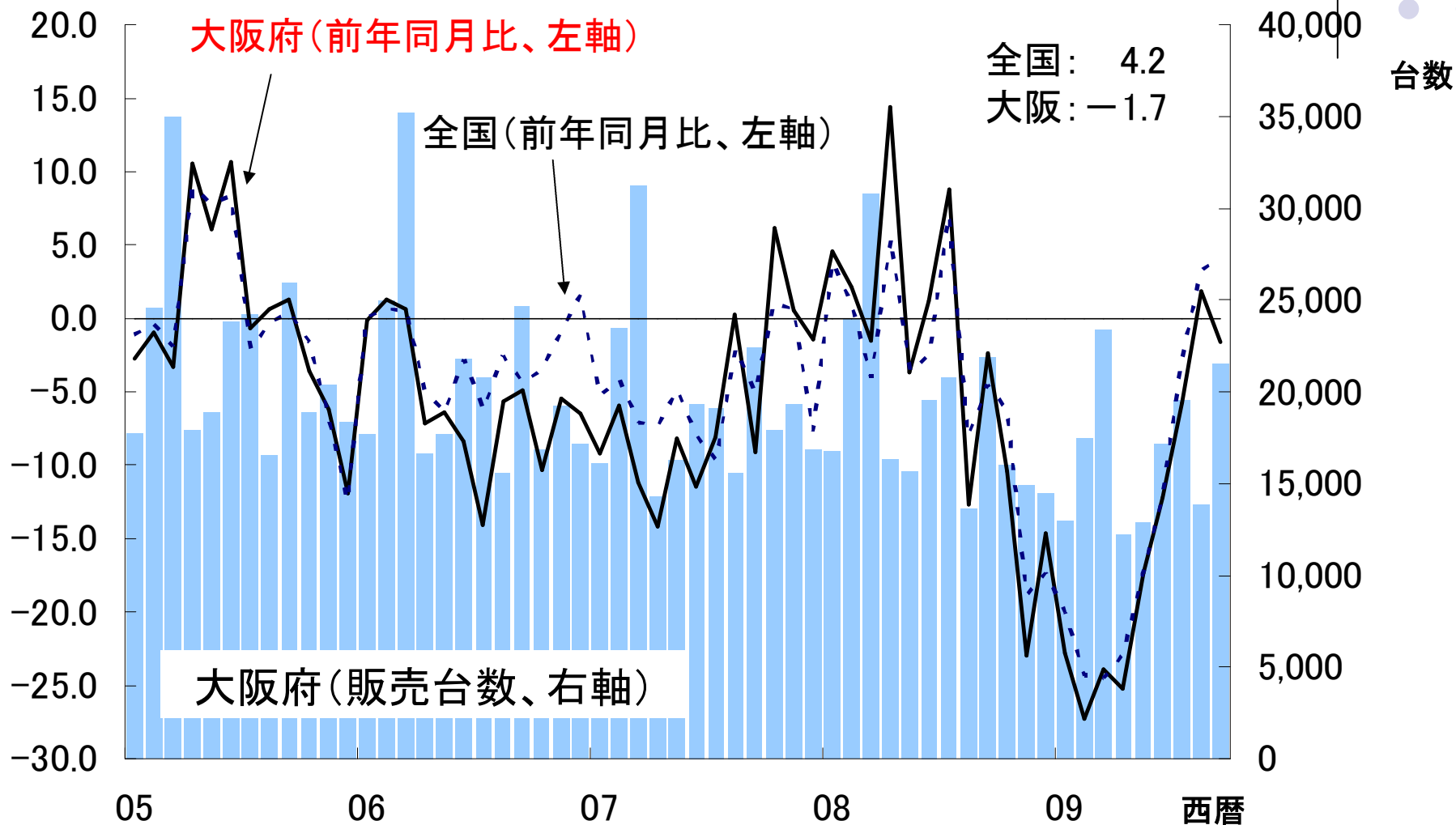


【データ出所】「近畿経済の動向」(近畿経済産業局)

(2) 需要サイド 消費の動き

新車販売台数(普通車+小型車+軽四車の合計)

(2005年1月~2009年9月)

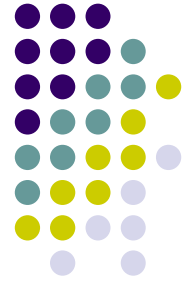


【データ出所】(社)日本自動車販売協会連合会、(社)全国軽自動車協会連合会



(3) 供給サイド：生産・企業経営

(3) 供給サイド 生産・企業経営

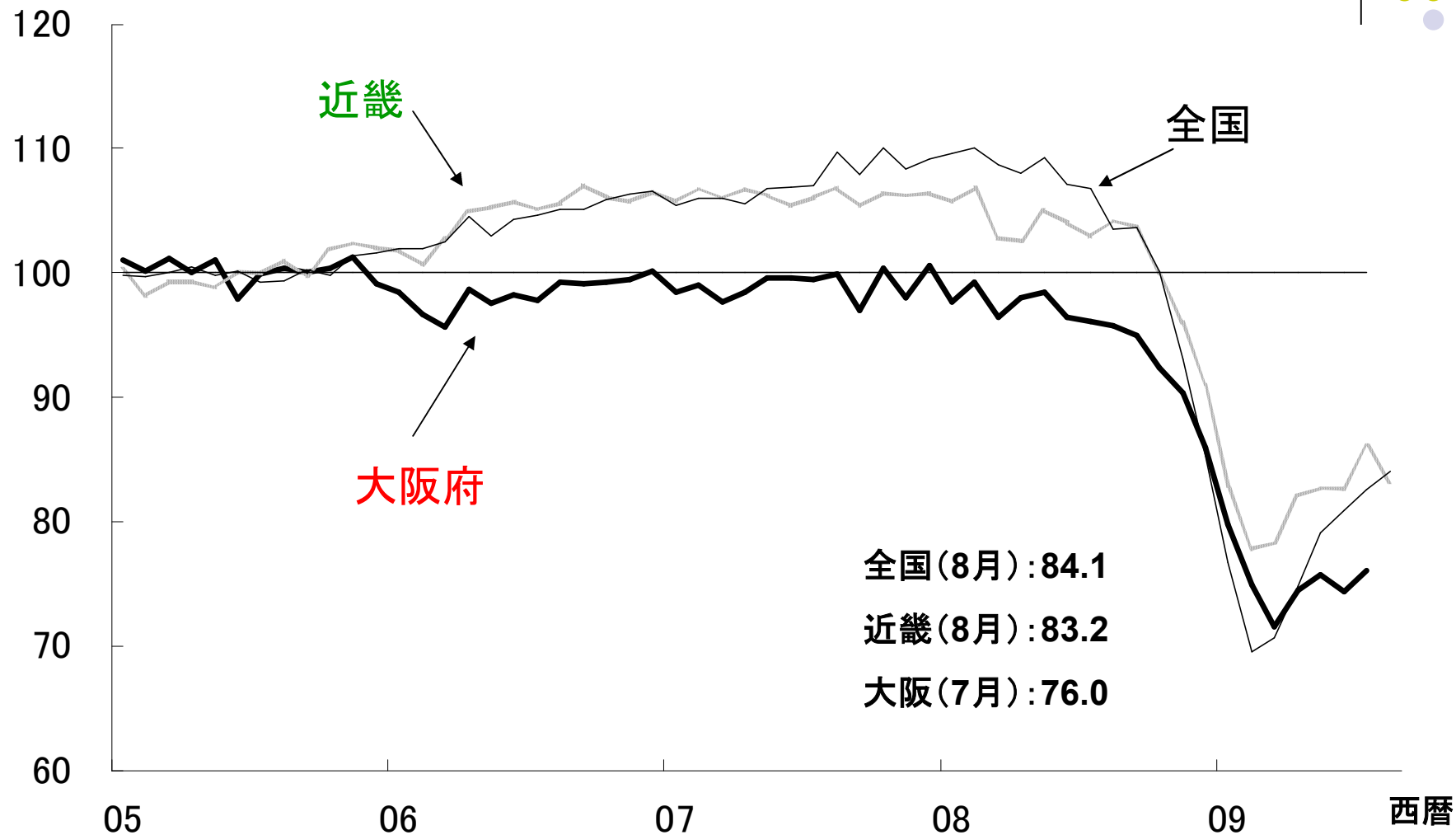


- 生産・出荷では持ち直しが見られるが、雇用・設備は依然として過剰状態。
 - 生産、出荷・売上高は、持ち直すが未だ低い水準。
 - 原材料価格は減少から反転し、今後上昇の兆し。
 - 営業利益は大企業を中心に改善傾向が続くものの、全体としては依然厳しい。
 - 資金繰りは大企業で改善、中小企業でやや改善。
 - 雇用過剰感は、大企業で増加、中小企業で頭打ち。
→雇用は厳しい状況が続いている。

(3) 供給サイド 生産の動き

鋳工業生産指数(季節調整値)

(2005年1月～2009年7月(大阪)、2009年8月(近畿、全国:速報))

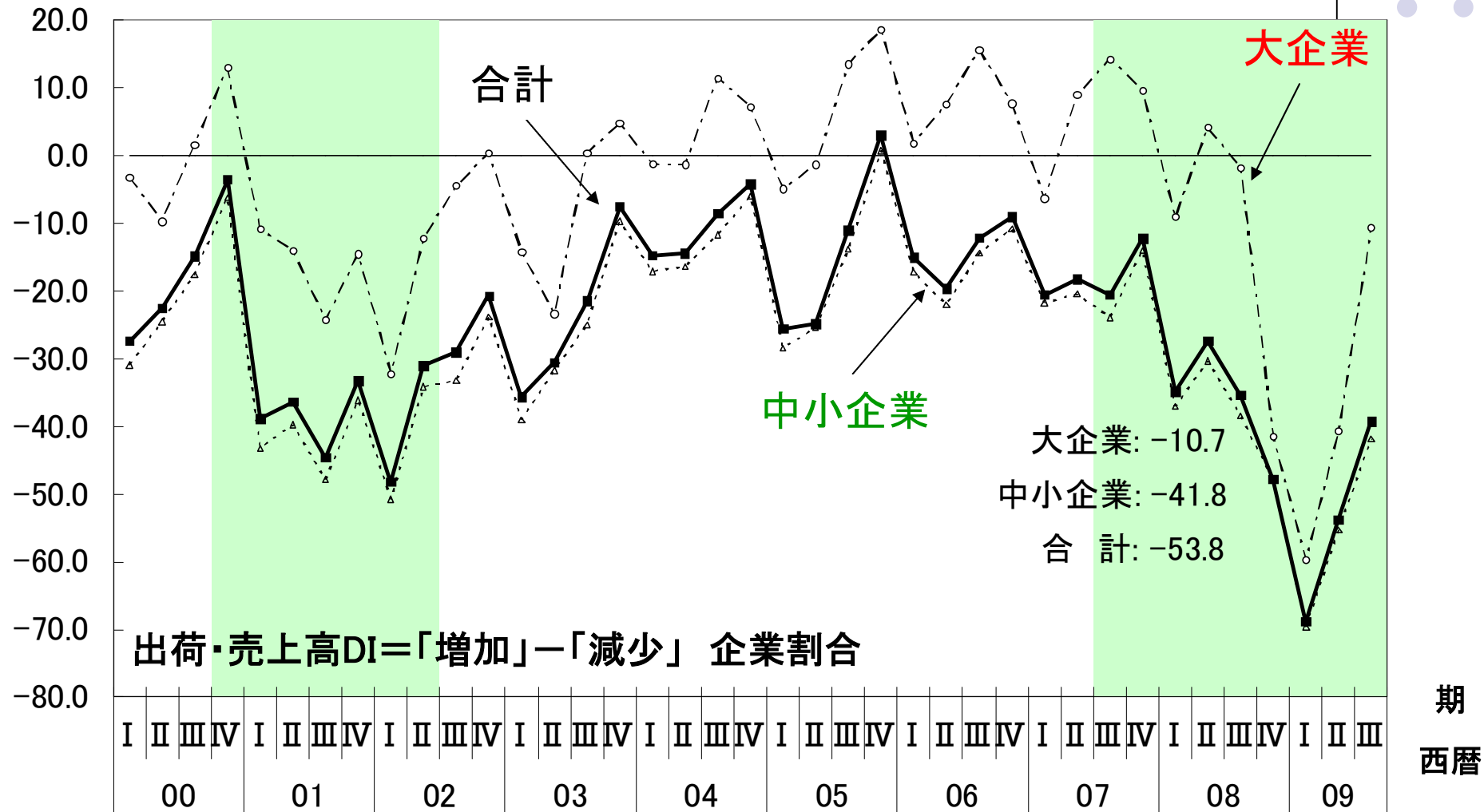
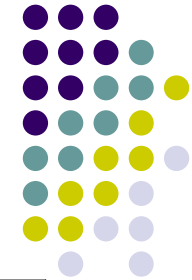


【データ出所】「鋳工業指数」(経済産業省)、「鋳工業生産動向」(近畿経済産業局)、「大阪の工業動向」(大阪府)

(3) 供給サイド 企業経営の状況

出荷・売上高DI

(2000年1-3月期から2009年7-9月期)

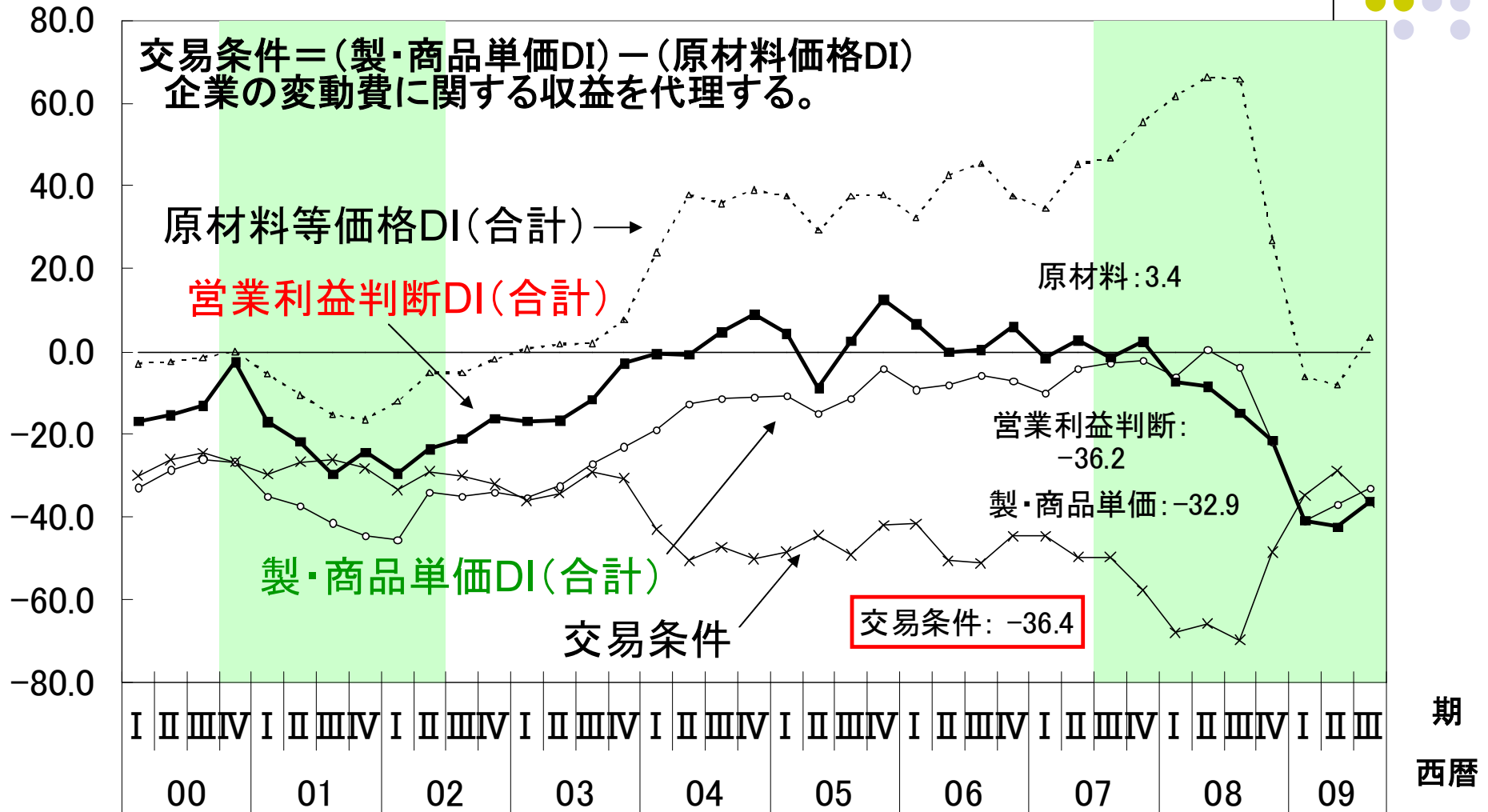


※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(3) 供給サイド 企業経営の状況

交易条件

(2000年1-3月期から2009年7-9月期)

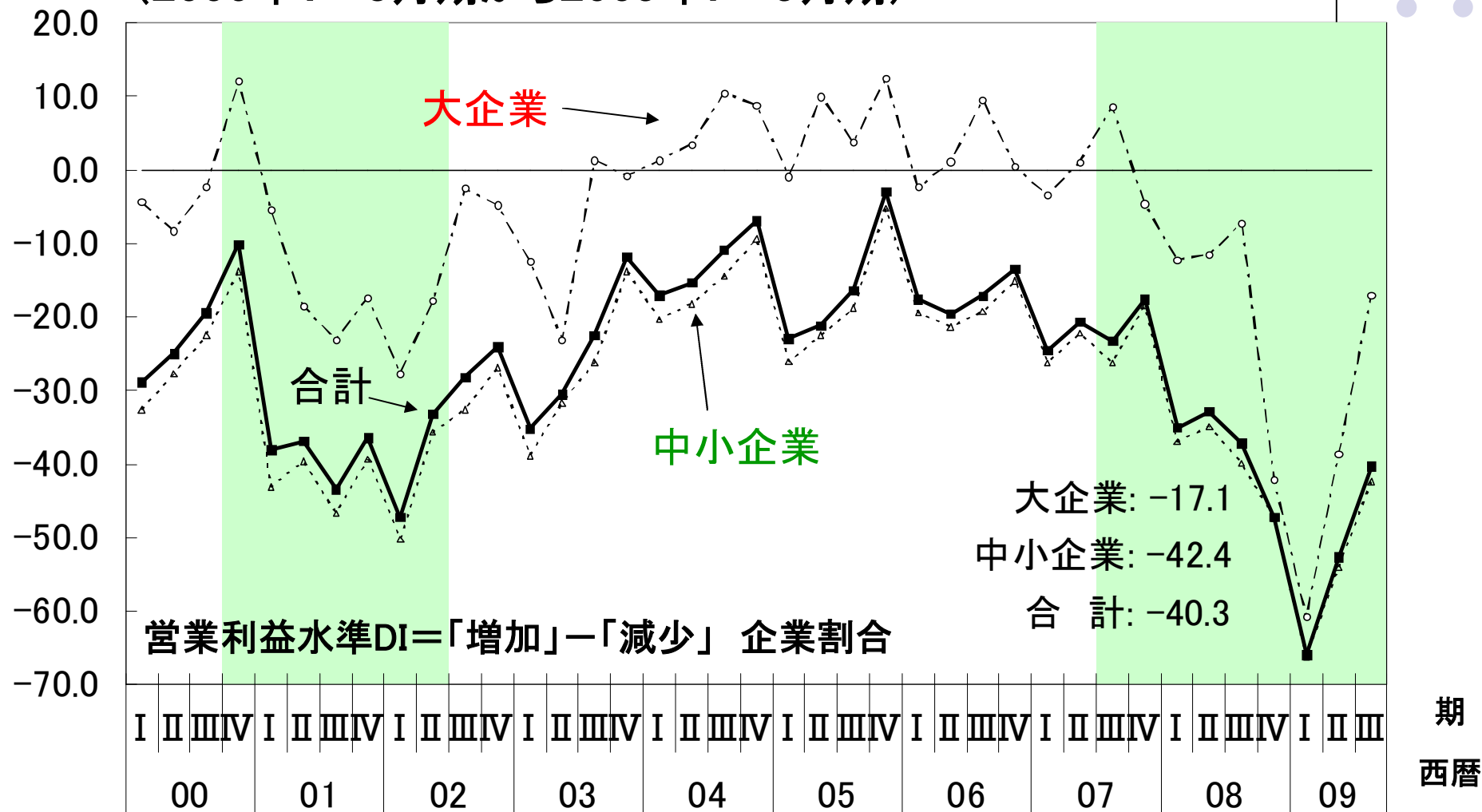


※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
 【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(3) 供給サイド 企業経営の状況

営業利益水準DI

(2000年1-3月期から2009年7-9月期)

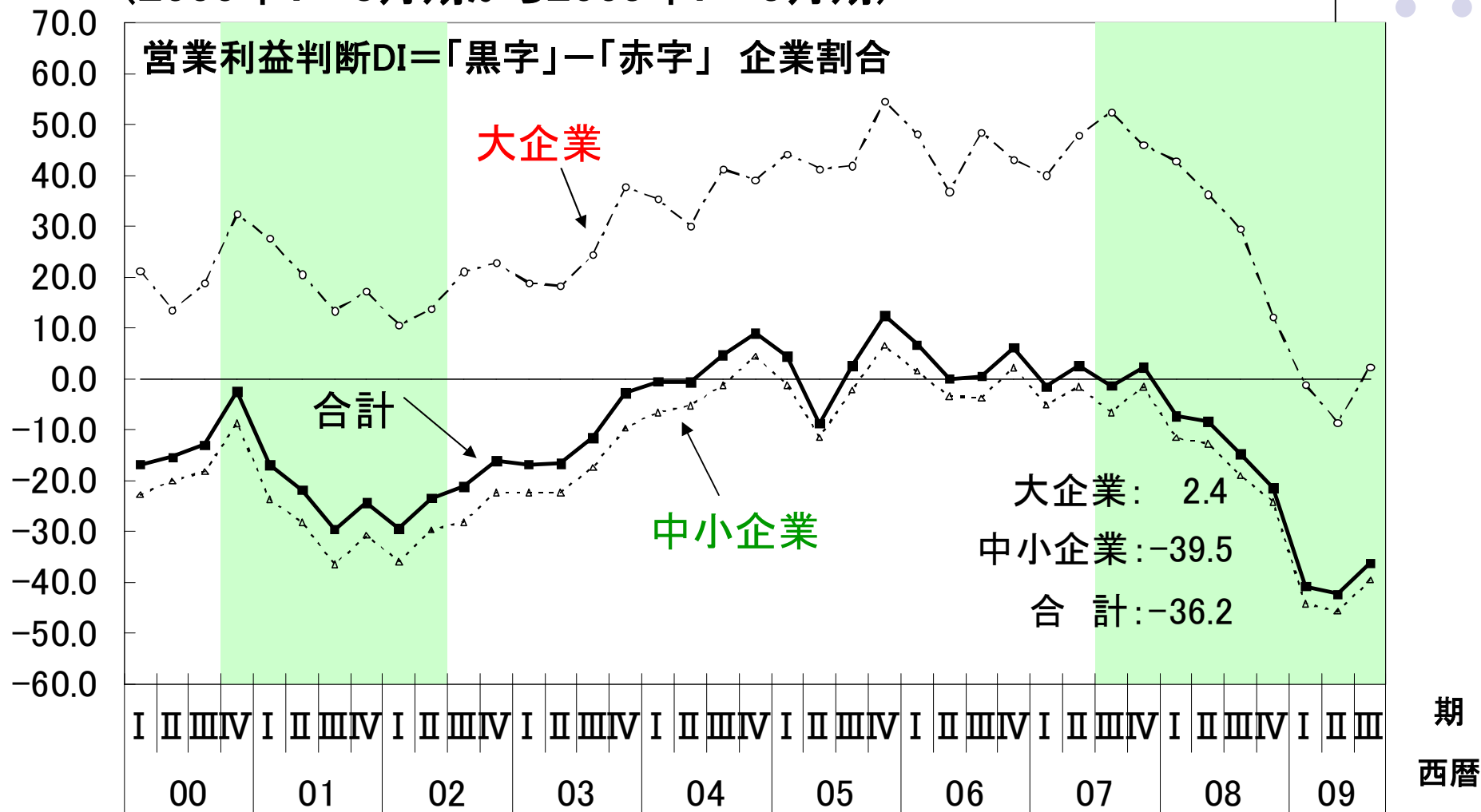


※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(3) 供給サイド 企業経営の状況

営業利益判断DI

(2000年1-3月期から2009年7-9月期)

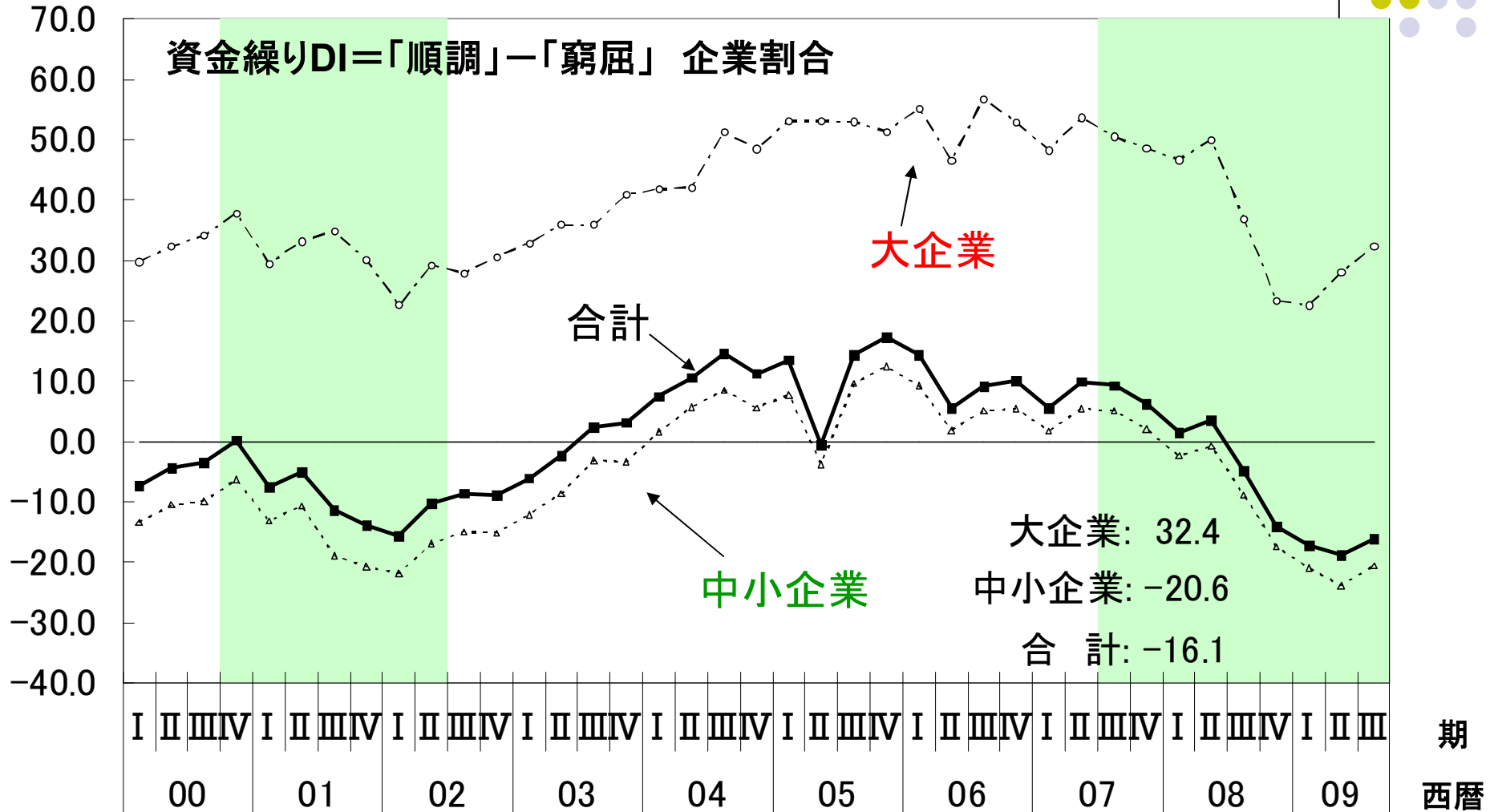
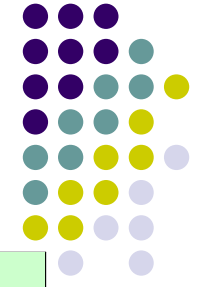


※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(3) 供給サイド 企業経営の状況

資金繰りDI

(2000年1-3月期から2009年7-9月期)

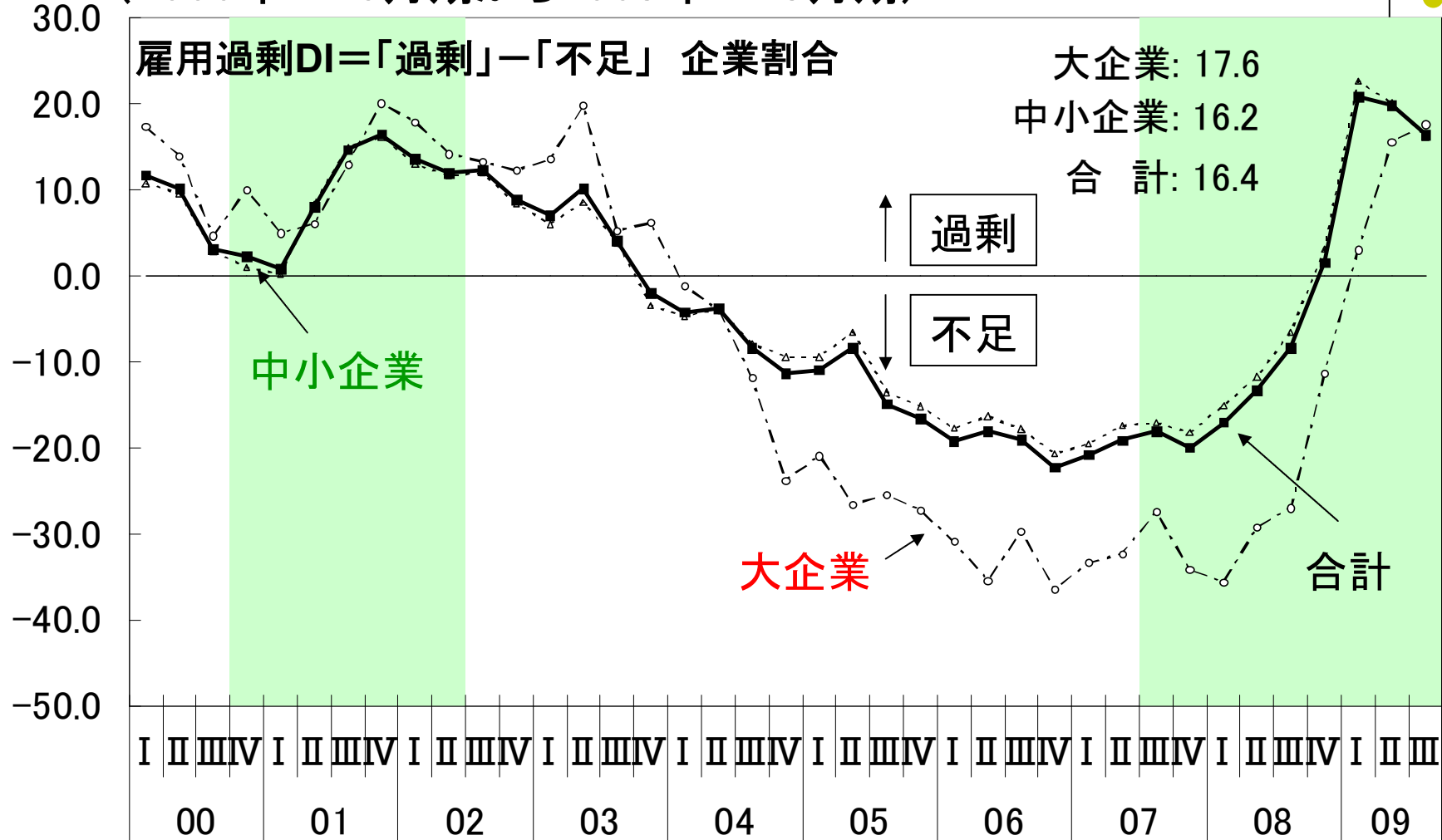


※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
 【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(3) 供給サイド 企業経営の状況

雇用過剰DI

(2000年1-3月期から2009年7-9月期)

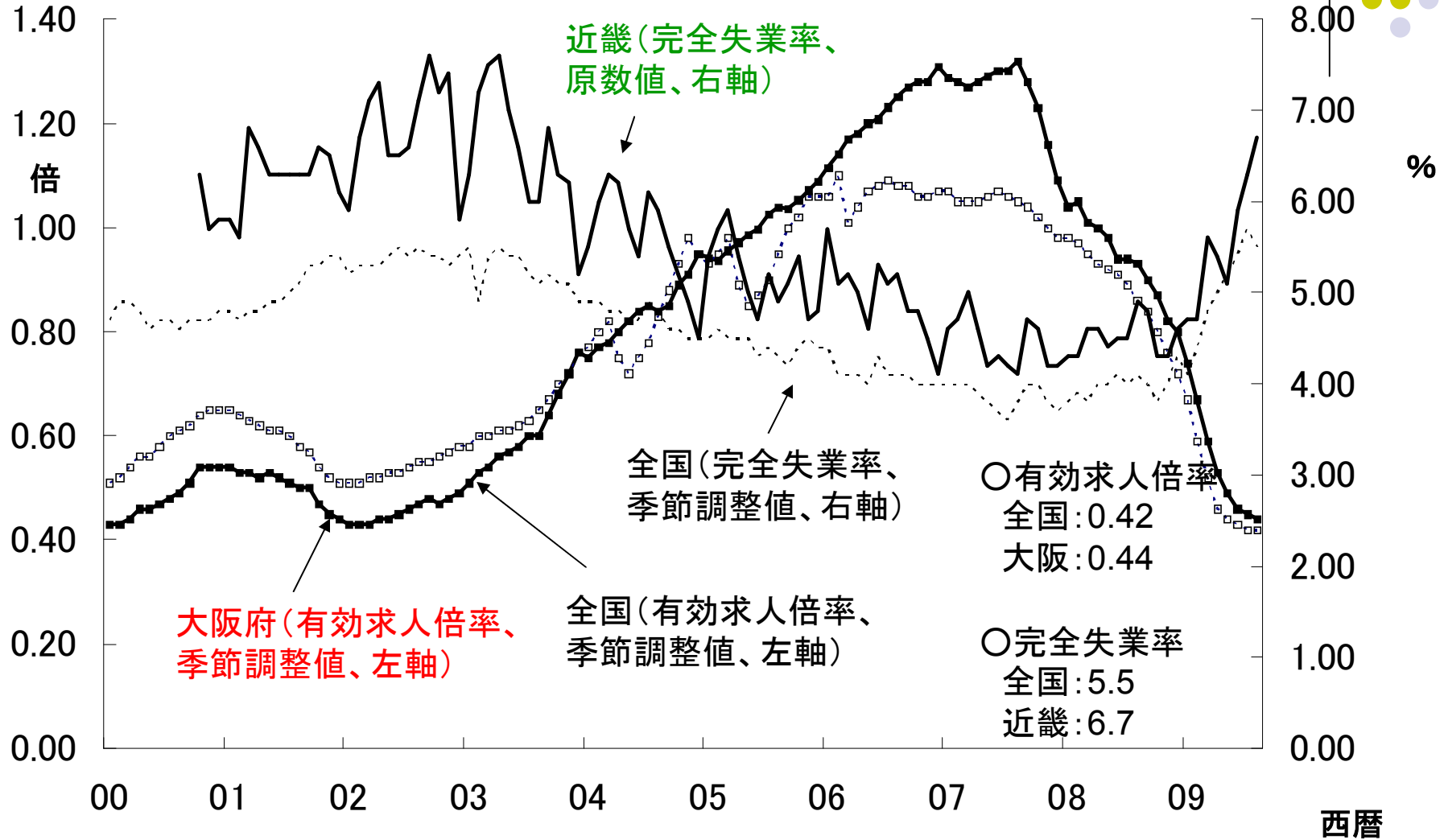


※シャドー部分は、大阪府における景気後退期(産業開発研究所設定)を表す。
【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(3) 供給サイド 雇用状況

有効求人倍率と完全失業率

(2000年1月～2009年8月)

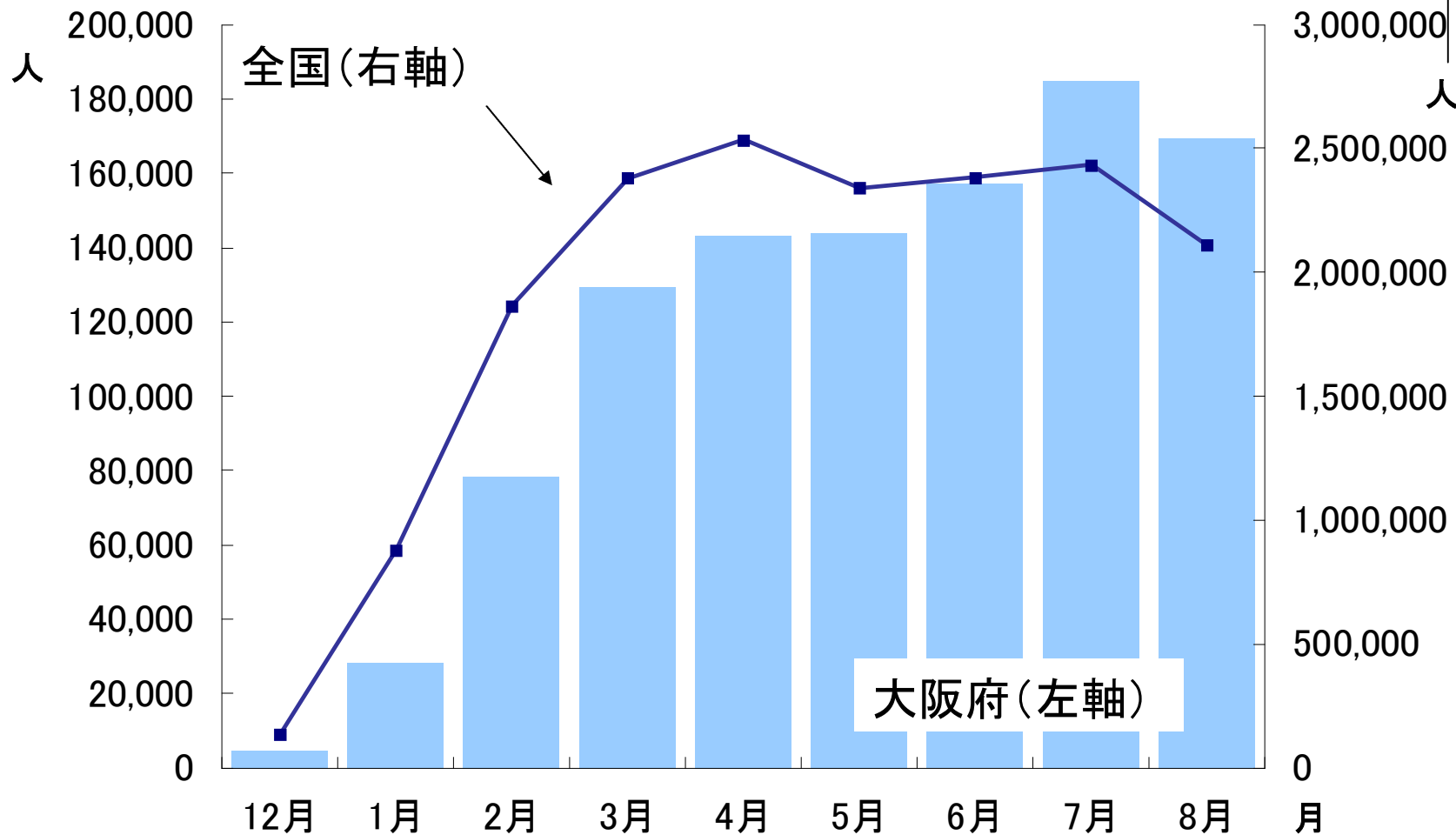


【データ出所】「労働市場月報」(大阪労働局)、「職業安定業務統計」(厚生労働省)
「労働力調査」(総務省)

(3)供給サイド 雇用状況

雇用調整助成金の対象者数(速報値)

(2008年12月～2009年8月)



※中小企業緊急雇用安定助成金(2008年12月1日創設)を含む。

【データ出所】「雇用調整助成金に係る休業等実施計画受理状況」(厚生労働省)

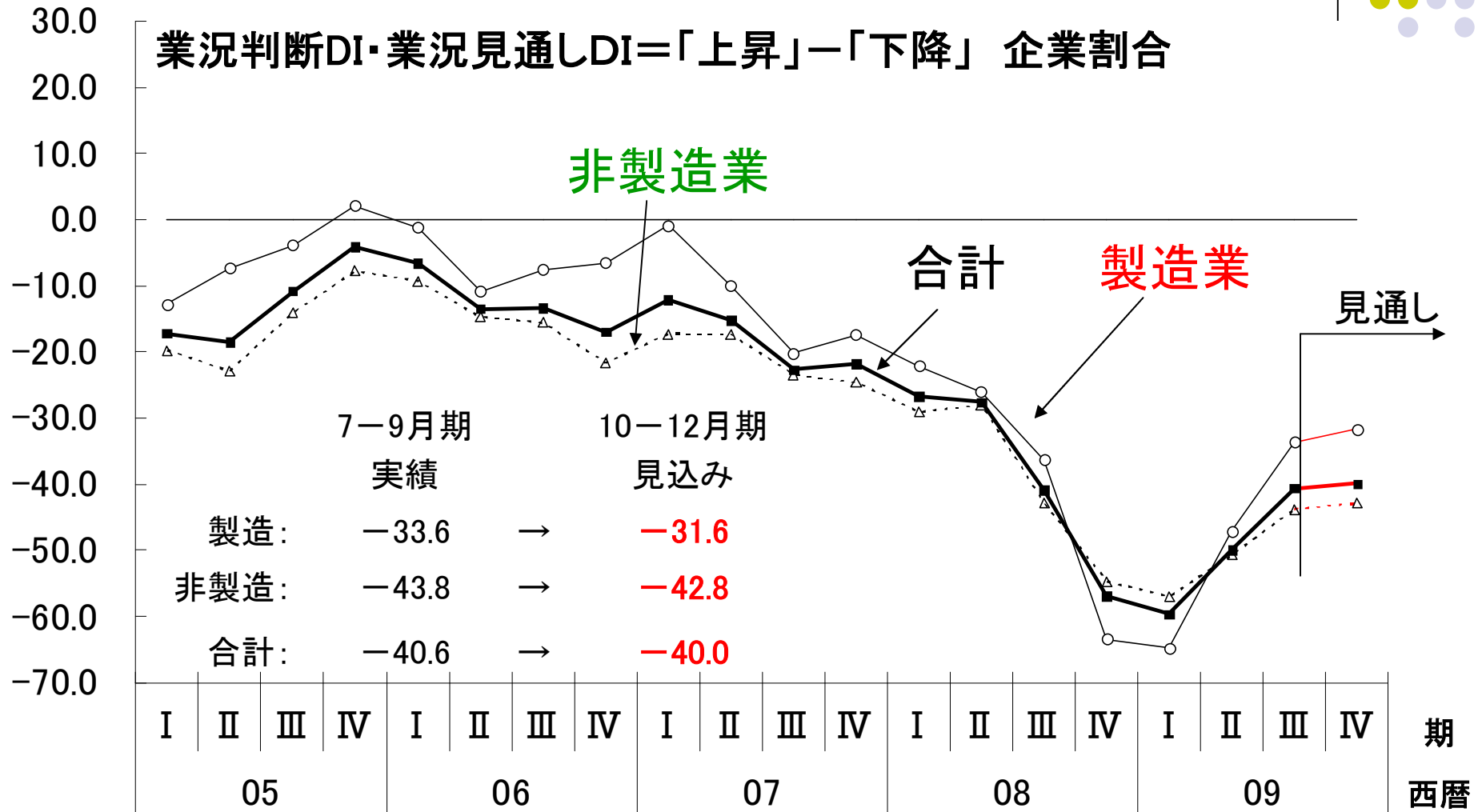


(4) 今後の大阪経済の動向

(4) 今後の大阪経済の動向

業況見通しDI(業種別、前期比、季節調整値)

(2005年1-3月期から2009年7-9月期+10-12月期見込み)



【データ出所】「大阪府景気観測調査結果」(産業開発研究所)

(4) 今後の大阪経済の動向

景気ウォッチャー調査

(景気の先行き判断(方向性)合計DI)

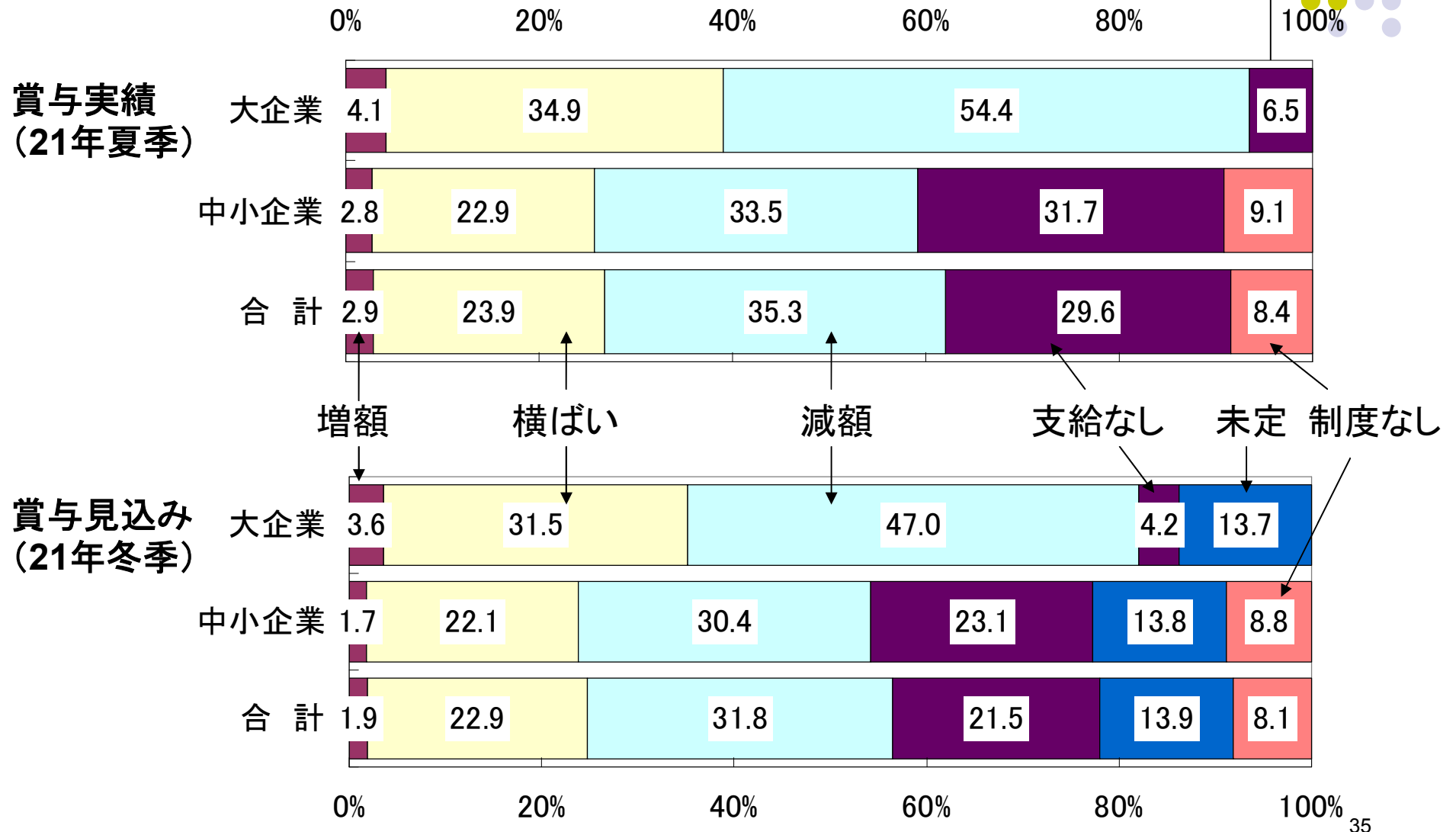
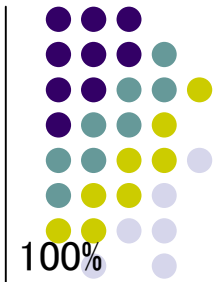
(2005年1月～2009年9月)



【データ出所】「景気ウォッチャー調査」(内閣府)

(4) 今後の大阪経済の動向

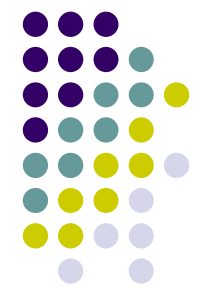
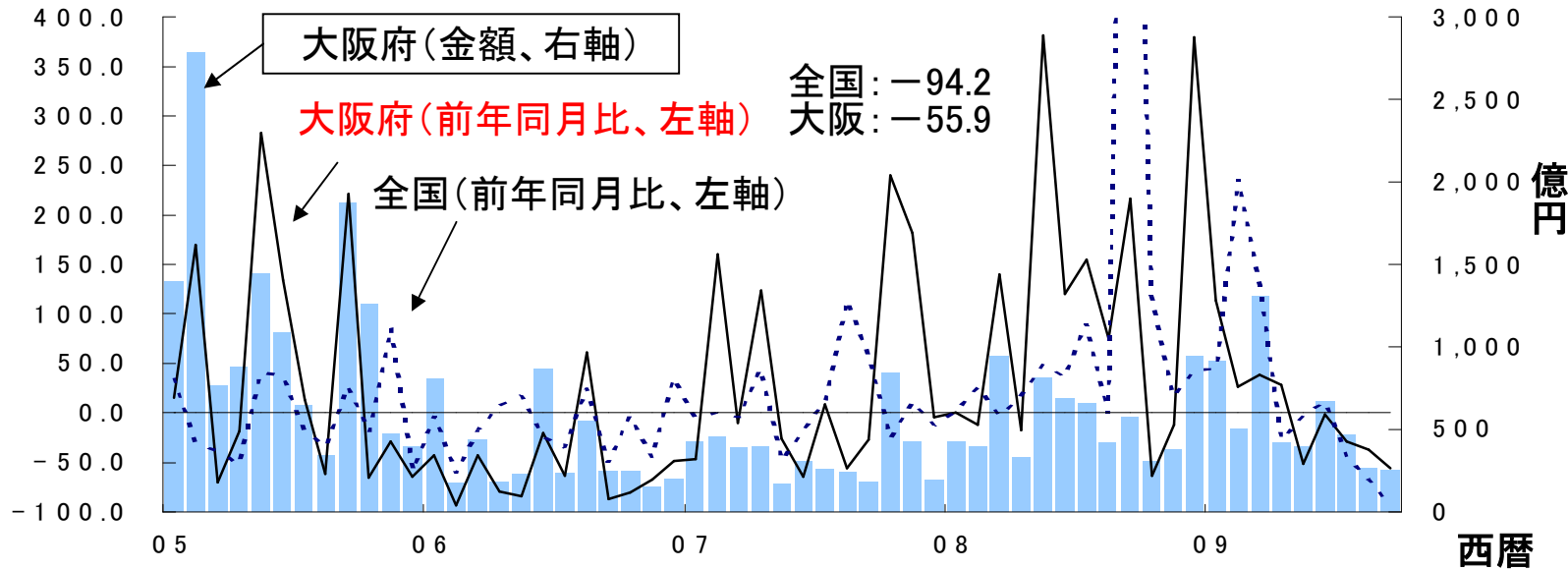
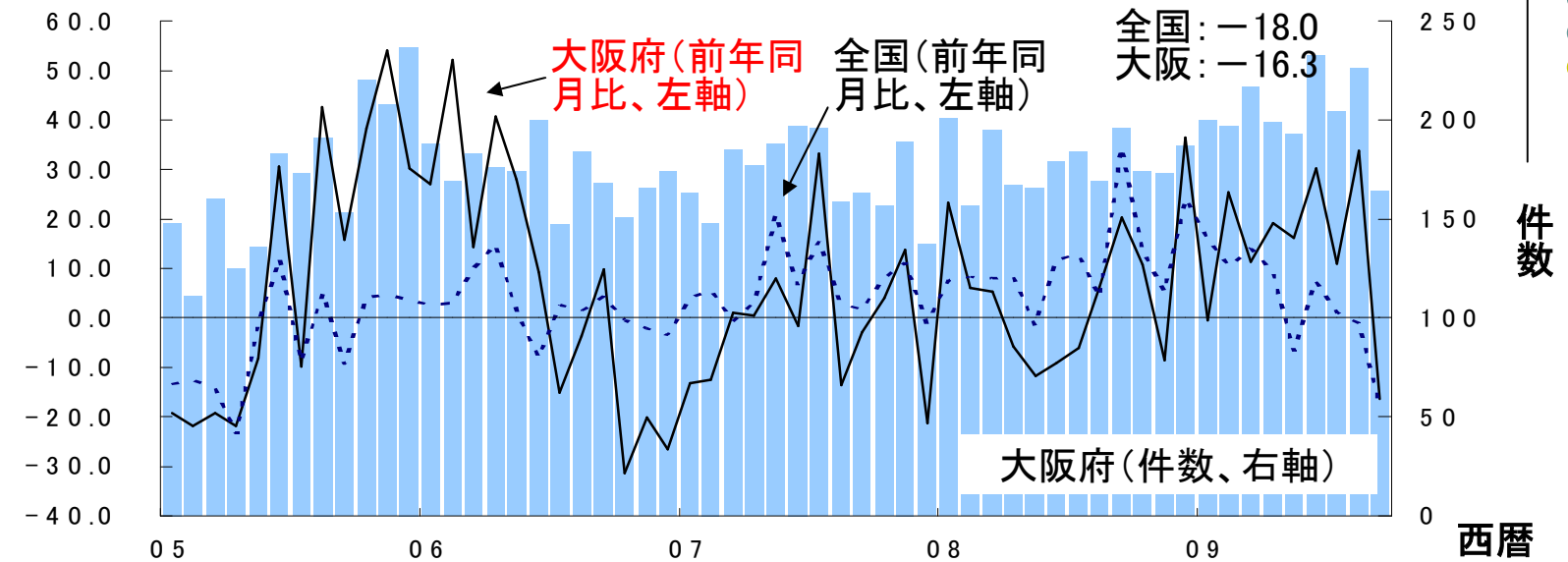
今年の賞与の実績と見込み



【データ出所】「大阪府景気観測調査結果、2009年7-9月期」(産業開発研究所)

(4) 今後の大阪経済の動向

倒産 (2005年1月～2009年9月)



【データ出所】 東京商工リサーチ調べ (※負債総額1,000万円以上企業対象)



過去の景気後退局面との比較

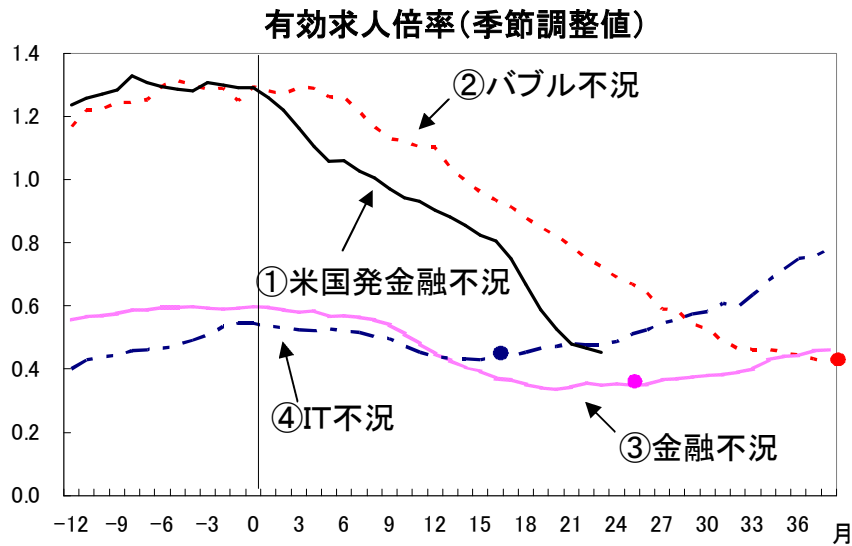
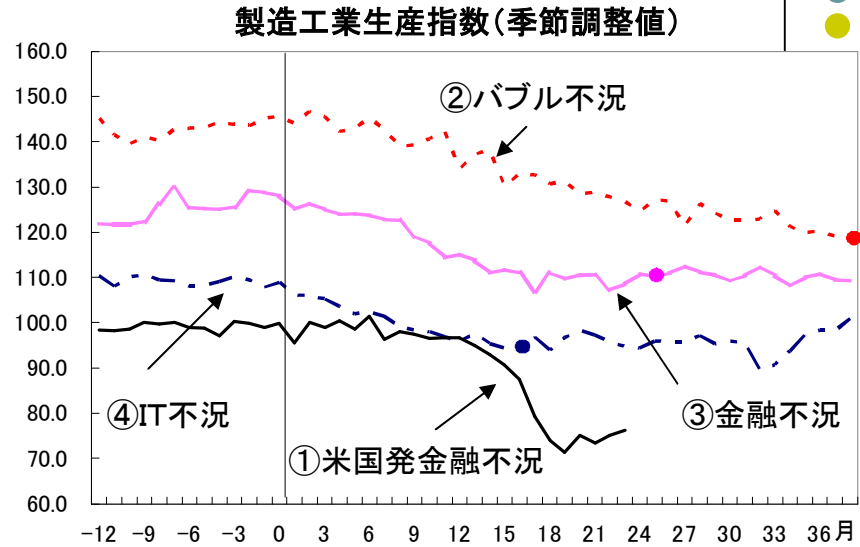
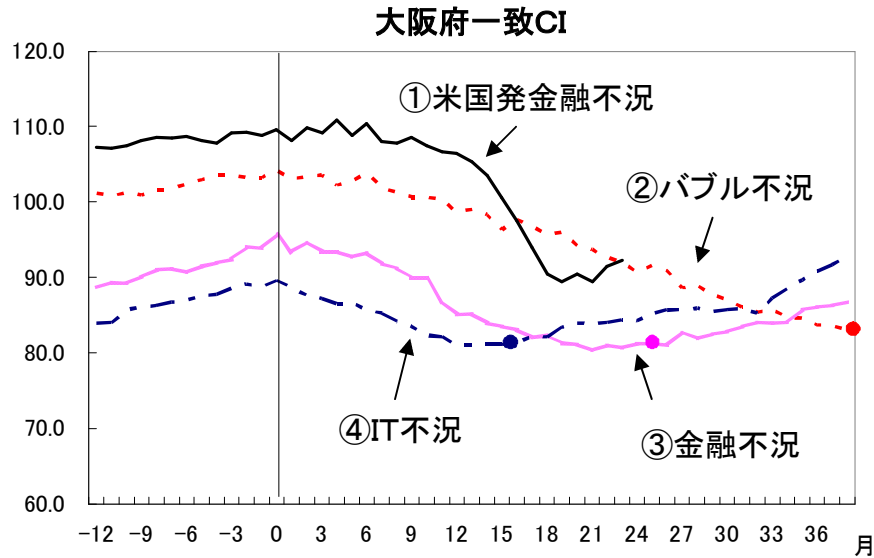
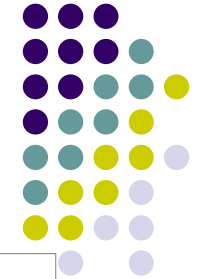
過去の景気後退期(大阪府)

①米国発金融不況	2007:08～	
②バブル不況	1990:12～1994:02	38ヶ月
③金融不況	1997:03～1999:04	25ヶ月
④IT不況	2000:10～2002:04	16ヶ月

※各景気後退期間(①～④)は、産業開発研究所が設定したものの。

(4) 今後の大阪経済の動向

過去の景気後退局面の比較



※景気の山の時点を0と置いた。
●は大阪府の景気の谷を表す。

【データ出所】 大阪CI(産業開発研究所)、「大阪の工業動向」(大阪府)、「労働市場月報」(大阪労働局)